

別紙 1 - 1

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線 (北海道亀田郡七飯町字峠下から北海道山越郡長万部町字富野まで)に関する 工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道亀田郡七飯町字峠下 から
北海道山越郡長万部町字富野 まで

(ロ) 延 長 88.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道亀田郡七飯町字峠下 から 北海道山越郡長万部町字富野 まで	100	88.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道亀田郡七飯町字峠下	から	2 車線	4 車線	
北海道山越郡長万部町字富野	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道5号 道道上磯峠下線	北海道亀田郡七飯町	平面接続	七飯インターチェンジ(仮称)
道道大沼インター線	北海道茅部郡森町	立体接続	大沼インターチェンジ(仮称)
道道森インター線	北海道茅部郡森町	立体接続	森インターチェンジ(仮称)
道道落部インター線	北海道山越郡八雲町	立体接続	落部インターチェンジ(仮称)
一般国道277号	北海道山越郡八雲町	立体接続	八雲インターチェンジ(仮称)
一般国道230号	北海道山越郡長万部町	立体接続	国縫インターチェンジ

(4)工事予算

2,699 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 2

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線 (北海道山越郡長万部町字富野から北海道虻田郡虻田町字三豊まで)に関する 工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道山越郡長万部町字富野 から
北海道虻田郡虻田町字三豊 まで

(ロ) 延 長 47.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道山越郡長万部町字富野 から 北海道虻田郡虻田町字三豊 まで	80	47.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン、TT-43トン及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道山越郡長万部町字富野	から	2 車線	4 車線	
北海道虻田郡虻田町字三豊	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2 2.50×2	6.00 5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

上段:山越郡長万部町字共立から虻田郡豊浦町大字大岸まで
 下段:山越郡長万部町字富野から山越郡長万部町字共立まで
 虻田郡豊浦町大字大岸から虻田郡虻田町字三豊まで

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道5号	北海道山越郡長万部町	立体接続	長万部インターチェンジ
一般国道5号	北海道寿都郡黒松内町	立体接続	黒松内ジャンクション(仮称)
一般国道37号	北海道虻田郡豊浦町	立体接続	豊浦インターチェンジ

(4)工事予算

1,066 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63 年 11 月 25 日

工事の完成予定年月日 平成 19 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 3

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線 (北海道虻田郡虻田町字三豊から北海道登別市富岸町まで)に関する 工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道虻田郡虻田町字三豊 から
北海道登別市富岸町 まで

(ロ) 延 長 36.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道虻田郡虻田町字三豊 から 北海道登別市富岸町 まで	100	36.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン、TT-43トン及び25tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道虻田郡虻田町字三豊	から	2車線	4車線	
北海道登別市富岸町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.75m含む
	1.00×2	2.00				側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

上段:虻田郡虻田町字三豊から同町字泉
下段:虻田郡虻田町字泉から登別市富岸町

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道230号	北海道虻田郡虻田町	立体接続	虻田洞爺湖インターチェンジ
道道伊達インター線	北海道伊達市	立体接続	伊達インターチェンジ
道道室蘭環状線	北海道室蘭市	立体接続	室蘭インターチェンジ

(4)工事予算

956 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成予定年月日 平成 20 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 4

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道登別市富岸町から北海道苫小牧市字錦岡まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道登別市富岸町	から	4 車線	4 車線	
北海道苫小牧市字錦岡	まで			

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	3.00 × 2	6.00				側帯幅0.5(0.75)m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅0.5(0.75)m含む
橋梁高架部分(中小橋)	3.00 × 2	6.00				側帯幅0.5(0.75)m含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50 × 2	5.00				側帯幅0.5(0.75)m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道36号 市道中央通線	北海道登別市	立体接続	登別室蘭インターチェンジ
道道洞爺湖登別線	北海道登別市	立体接続	登別東インターチェンジ
道道白老大滝線	北海道白老郡白老町	立体接続	白老インターチェンジ

(4)工事予算

1,297 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成年月日 昭和 62 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 5

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道苫小牧市字錦岡から北海道千歳市泉沢まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道苫小牧市字錦岡 から
北海道千歳市泉沢 まで

(ロ) 延 長 29.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道苫小牧市字錦岡 から 北海道千歳市泉沢 まで	120	29.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル
(一部3.75メートル)

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
北海道苫小牧市字錦岡	から	4車線	4車線	
北海道千歳市泉沢	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00				側帯幅0.75m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分(中小橋)	3.00×2	6.00				側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00				側帯幅0.75m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)
〔一部13.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)〕

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道樽前錦岡線	北海道苫小牧市	立体接続	苫小牧西インターチェンジ
一般国道235号 (日高自動車道) 道道苫小牧東インター線	北海道苫小牧市	立体接続	苫小牧東インターチェンジ

(4)工事予算

401 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 45 年 6 月 9 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙1 - 6

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道千歳市泉沢から北海道北広島市大曲まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道千歳市泉沢 から
北海道北広島市大曲 まで

(ロ) 延長 22.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
北海道千歳市泉沢 から 北海道北広島市大曲 まで	120	22.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
北海道千歳市泉沢 から 北海道北広島市大曲 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.75m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分(中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道千歳インター線	北海道千歳市	立体接続	千歳インターチェンジ
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道千歳市	立体接続	千歳恵庭ジャンクション
道道恵庭岳公園線	北海道恵庭市	立体接続	恵庭インターチェンジ
一般国道36号	北海道北広島市	立体接続	北広島インターチェンジ

(4)工事予算

154 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43年 4月 1日

工事の完成年月日 昭和 49年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 7

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道北広島市大曲から北海道岩見沢市南町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道北広島市大曲 から

北海道岩見沢市南町 まで

(ロ) 延 長 44.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道北広島市大曲 から 北海道札幌市厚別区上野幌 まで	120	4.5	
北海道札幌市厚別区上野幌 から 北海道札幌市白石区米里 まで	80	7.9	
北海道札幌市白石区米里 から 北海道岩見沢市南町 まで	120	31.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル
(一部 3.75メートル)

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道北広島市大曲 から 北海道岩見沢市南町 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2 3.00×2	5.00 6.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む 側帯幅0.75m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2 3.00×2	5.00 6.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む 側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む 側帯幅0.75m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

8.0キロメートル / 時区間 4.0メートル(側帯0.50メートル×2を含む)
 4.4メートル(側帯0.50メートル×2を含む)
 12.0キロメートル / 時区間 4.5メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道274号、市道札幌東 部新道1号線及び市道札幌東 部新道2号線	北海道札幌市	立体接続	札幌南インターチェンジ
一般国道274号	北海道札幌市	立体接続	大谷地インターチェンジ
一般国道274号	北海道札幌市	立体接続	北郷インターチェンジ
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道札幌市	立体接続	札幌ジャンクション
一般国道274号	北海道札幌市	立体接続	札幌インターチェンジ
道道江別インター線	北海道江別市	立体接続	江別西インターチェンジ
一般国道337号	北海道江別市	立体接続	江別東インターチェンジ
一般国道234号	北海道岩見沢市	立体接続	岩見沢インターチェンジ

(4)工事予算

2,034 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 6 月 1 日

工事の完成年月日 平成 14 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 8

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道岩見沢市南町から北海道上川郡鷹栖町まで)に関する**

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道岩見沢市南町 から
 北海道上川郡鷹栖町 まで

(ロ) 延 長 93.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道岩見沢市南町 北海道深川市音江町字音江	から 100 まで	66.7	
北海道深川市音江町字音江 北海道上川郡鷹栖町	から 80 まで	26.7	

別紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
北海道岩見沢市南町	から	4車線	4車線	
北海道上川郡鷹栖町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅0.75m含む
	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅0.75m含む
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.50m含む

上段: 岩見沢市南町から深川市音江町字音江まで

下段: 深川市音江町字音江から北海道上川郡鷹栖町まで

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

岩見沢市南町から深川市音江町字音江まで
4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)
深川市音江町字音江から北海道上川郡鷹栖町まで
3.50メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道岩見沢三笠線	北海道三笠市	立体接続	三笠インターチェンジ
道道美唄富良野線	北海道美唄市	立体接続	美唄インターチェンジ
道道赤平奈井江線	北海道空知郡奈井江町	立体接続	奈井江砂川インターチェンジ
一般国道38号	北海道滝川市	立体接続	滝川インターチェンジ
一般国道233号 (深川留萌自動車道)	北海道深川市	立体接続	深川ジャンクション
道道深川豊里線	北海道深川市	立体接続	深川インターチェンジ
道道旭川鷹栖インター線	北海道旭川市	立体接続	旭川鷹栖インターチェンジ

(4)工事予算

2,444 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 11 月 15 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 9

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道上川郡鷹栖町から北海道上川郡和寒町字三笠まで)に関する**

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道上川郡鷹栖町 から

北海道上川郡和寒町字三笠 まで

(ロ) 延 長 29.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道上川郡鷹栖町 から 北海道上川郡和寒町字三笠 まで	100	29.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
北海道上川郡鷹栖町 から 北海道上川郡和寒町字三笠 まで	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-				
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

—

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道旭川北インター線	北海道旭川市	立体接続	旭川北インターチェンジ
一般国道450号 (旭川・紋別自動車道)	北海道上川郡比布町	立体接続	比布ジャンクション
一般国道40号	北海道上川郡和寒町	立体接続	和寒インターチェンジ

(4)工事予算

489 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 12 月 27 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 10

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道縦貫自動車道函館名寄線
(北海道上川郡和寒町字三笠から北海道上川郡剣淵町字剣淵まで)に関する**

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道縦貫自動車道 函館名寄線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道上川郡和寒町字三笠 から
北海道上川郡剣淵町字剣淵 まで

(ロ) 延 長 16.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道上川郡和寒町字三笠 から 北海道上川郡剣淵町字剣淵 まで	100	16.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
北海道上川郡和寒町字三笠	から	2車線	4車線	
北海道上川郡剣淵町字剣淵	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)						

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道士別剣淵インター線	北海道士別市及び北海道上川郡剣淵町	立体接続	士別剣淵インターチェンジ

(4)工事予算

257 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道縦貫自動車道 19,555百万円の内数)

別紙 1 - 11

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道小樽市勝納町から北海道札幌市西区宮の沢まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道小樽市勝納町 から
北海道札幌市西区宮の沢 まで

(ロ) 延 長 24.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道小樽市勝納町 から 北海道札幌市西区宮の沢 まで	80	24.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20 トン

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道小樽市勝納町 から 北海道札幌市西区宮の沢 まで	4 車線	4 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.75×2	5.50	2.75	1.00	3.75	側帯幅0.5m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.75×2	5.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75(下り線) 1.25(上り線)	3.00	1.75(下り線) 1.25(上り線)	0.50	2.25(下り線) 1.75(上り線)	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道小樽港線	北海道小樽市	平面接続	本線
一般国道5号	北海道小樽市	平面接続	小樽インターチェンジ
道道小樽定山溪線	北海道小樽市	立体接続	朝里インターチェンジ
道道銭函インター線	北海道小樽市	立体接続	銭函インターチェンジ
市道手稲インター線	北海道札幌市	立体接続	手稲インターチェンジ
一般国道5号	北海道札幌市	立体接続	札幌西インターチェンジ

(4)工事予算

379 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 3月 17日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

別紙1 - 12

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道札幌市西区宮の沢から札幌市白石区米里まで)に関する**

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道札幌市西区宮の沢 から
北海道札幌市白石区米里 まで

(ロ) 延 長 14.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道札幌市西区宮の沢 から 北海道札幌市白石区米里 まで	80	14.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL 20トン及びTT 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道札幌市西区宮の沢	から	4 車線	4 車線	
北海道札幌市白石区米里	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要(側帯幅)
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分						
トンネル部分						
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
	1.75×2	3.50				

上段:札幌市西区宮の沢から札幌市白石区米里までの内、下記以外
 下段:札幌市西区発寒9条から札幌市西区発寒11条まで及び
 札幌市北区新川5条から札幌市北区北33条まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

札幌市西区宮の沢から札幌市白石区米里までの内、下記以外
3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む)

札幌市西区発寒9条から札幌市西区発寒11条まで及び
札幌市北区新川5条から札幌市北区北33条まで
2.25メートル(側帯0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道5号	北海道札幌市北区	立体接続	新川インターチェンジ
一般国道5号 一般国道274号	北海道札幌市北区及び 同市東区	立体接続	札幌北インターチェンジ
一般国道274号	北海道札幌市東区	立体接続	伏古インターチェンジ
一般国道274号	北海道札幌市東区	立体接続	雁来インターチェンジ
北海道縦貫自動車道函館名寄線	北海道札幌市白石区	立体接続	札幌ジャンクション

(4)工事予算

1,075 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 61 年 10 月 4 日

工事の完成年月日 平成 5 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

別紙 1 - 13

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道千歳市上長都から北海道夕張市紅葉山まで)に関する**

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道千歳市上長都 から
北海道夕張市紅葉山 まで

(ロ) 延 長 42.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道千歳市上長都 から 北海道勇払郡追分町旭 まで	100	28.4	
北海道勇払郡追分町旭 から 北海道夕張市紅葉山 まで	80	13.7	

別紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL 20 トン及びTT 43 トン

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
北海道千歳市上長都	から	2 車線	4 車線	
北海道夕張市紅葉山	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
	1.75×2	3.50				
トンネル部分	1.25×2	2.50				側帯幅1.0m含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む
	1.25×2	2.50				

上段: 千歳市上長都から勇払郡追分町旭

下段: 勇払郡追分町旭から夕張市紅葉山

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
北海道縦貫自動車道函館名寄線	北海道千歳市	立体接続	千歳恵庭ジャンクション
一般国道337号	北海道千歳市	立体接続	千歳東インターチェンジ
一般国道234号	北海道勇払郡追分町	立体接続	追分町インターチェンジ
一般国道274号	北海道夕張市	立体接続	夕張インターチェンジ

(4)工事予算

1,078 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63 年 12 月 21 日

工事の完成年月日 平成 12 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

別紙 1 - 14

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道夕張市紅葉山から北海道勇払郡占冠村字上トマムまで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道夕張市紅葉山 から
北海道勇払郡占冠村字上トママ まで

(ロ) 延 長 60.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道夕張市紅葉山 から 北海道勇払郡占冠村字上トママ まで	100	60.7	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道夕張市紅葉山 から 北海道勇払郡占冠村字上トマム まで	2車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道穂別インター線	北海道勇払郡穂別町	立体接続	穂別インターチェンジ(仮称)
一般国道237号	北海道勇払郡占冠村	立体接続	占冠インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

2,170 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

別紙 1 - 15

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道勇払郡占冠村字上トマムから北海道上川郡清水町字清水まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道勇払郡占冠村字上トマム から
 北海道上川郡清水町字清水 まで

(ロ) 延 長 20.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道勇払郡占冠村上トマム	から	100	20.9	
北海道上川郡清水町字清水	まで			

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
北海道勇払郡占冠村上トマム から 北海道上川郡清水町字清水 まで	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
道道夕張新得線	北海道勇払郡占冠村	立体接続	トマムインターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

591 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 7 月 9 日

工事の完成予定年月日 平成 20 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道上川郡清水町字清水から北海道中川郡池田町字信取まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道上川郡清水町字清水 から
北海道中川郡池田町字信取 まで

(ロ) 延 長 50.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道上川郡清水町字清水 から 北海道中川郡池田町字信取 まで	100	50.3	

別紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL 20トン及びTT 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
北海道上川郡清水町字清水	から	2車線	4車線	
北海道中川郡池田町字信取	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道274号	北海道上川郡清水町	立体接続	十勝清水インターチェンジ
道道東瓜幕芽室線	北海道河西郡芽室町	立体接続	芽室インターチェンジ
一般国道236号 (帯広・広尾自動車道)	北海道河西郡芽室町	立体接続	帯広ジャンクション
一般国道241号 (帯広北バイパス)	北海道河東郡音更町	立体接続	音更帯広インターチェンジ
一般国道242号線	北海道中川郡池田町	立体接続	池田インターチェンジ

(4)工事予算

937 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 61 年 3 月 13 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

別紙 1 - 17

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内釧路線
(北海道中川郡池田町字信取から北海道阿寒郡阿寒町下舌辛まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内釧路線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道中川郡池田町字信取 から
北海道阿寒郡阿寒町下舌辛 まで

(ロ) 延 長 67.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道中川郡池田町字信取 から 北海道阿寒郡阿寒町下舌辛 まで	100	67.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
北海道中川郡池田町字信取	から	2車線	4車線	
北海道阿寒郡阿寒町下舌辛	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
北海道横断自動車道 黒松内端野線	北海道中川郡本別町	立体接続	本別ジャンクション
一般国道242号	北海道中川郡本別町	立体接続	本別インターチェンジ
一般国道392号	北海道白糠郡白糠町	立体接続	白糠インターチェンジ(仮称)
一般国道240号	北海道阿寒郡阿寒町	平面接続	阿寒インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,872 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 13 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

別紙 1 - 18

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北海道横断自動車道黒松内端野線
(北海道中川郡本別町勇足から北海道常呂郡訓子府町字協成まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北海道横断自動車道 黒松内端野線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 北海道中川郡本別町勇足 から
北海道常呂郡訓子府町字協成 まで

(ロ) 延 長 79.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
北海道中川郡本別町勇足 から 北海道常呂郡訓子府町字協成 まで	100	79.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
北海道中川郡本別町勇足 から 北海道常呂郡訓子府町字協成 まで	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50				側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
北海道横断自動車道黒松内釧路線	北海道中川郡本別町	立体接続	本別ジャンクション
一般国道242号	北海道足寄郡足寄町	立体接続	足寄インターチェンジ
一般国道242号	北海道足寄郡陸別町	立体接続	陸別インターチェンジ(仮称)
道道訓子府陸別線	北海道常呂郡訓子府町	平面接続	訓子府インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,554 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 13 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北海道横断自動車道 30,663百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線

(東京都練馬区大泉5丁目から埼玉県川口市赤芝新田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 東京都練馬区大泉5丁目 から
埼玉県川口市赤芝新田 まで

(ロ) 延 長 18.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
東京都練馬区 大泉5丁目 から 埼玉県川口市赤芝新田 まで	80	18.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都練馬区 大泉5丁目 から 埼玉県和光市新倉 まで	6 車線	6 車線	
埼玉県和光市新倉 から 埼玉県川口市赤芝新田 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割) 部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
土工(盛土) 部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
都道練馬所沢線 関越自動車道新潟線	東京都練馬区	立体接続	大泉インターチェンジ (ジャンクション)
一般国道254号 県道和光インター線	埼玉県和光市	立体接続	和光インターチェンジ
一般国道254号 一般国道298号	埼玉県和光市	立体接続	和光北インターチェンジ
一般国道298号	埼玉県戸田市	立体接続	戸田西インターチェンジ
県道高速板橋 戸田線	埼玉県戸田市	立体接続	美女木ジャンクション
一般国道298号	埼玉県戸田市	立体接続	戸田東インターチェンジ
一般国道298号	埼玉県 さいたま市	立体接続	外環浦和 インターチェンジ
一般国道298号	埼玉県川口市	立体接続	川口西インターチェンジ
一般国道298号	埼玉県川口市	立体接続	川口中央 インターチェンジ

(4)工事予算

6,355 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 61 年 6 月 6 日

工事の完成年月日 平成 17 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線

(埼玉県川口市西新井宿から埼玉県さいたま市岩槻区加倉まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県川口市西新井宿 から
埼玉県さいたま市岩槻区加倉 まで

(ロ) 延 長 10.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県川口市西新井宿 から 埼玉県さいたま市 緑区大門 まで	80	4.8	
埼玉県さいたま市 緑区大門 から 埼玉県さいたま市 岩槻区加倉 まで	120	6.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル (一部3.75メートル)

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県川口市西新井宿 から 埼玉県さいたま市 緑区大門 まで	6 車線	6 車線	
埼玉県さいたま市 緑区大門 から 埼玉県さいたま市 岩槻区加倉 まで	6 車線	6 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m 側帯幅員0.75m
	3.00 × 2	6.00				
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	- 側帯幅員0.75m
	3.25 × 2	6.50				

上段:埼玉県川口市西新井宿から埼玉県さいたま市緑区大門まで

下段:埼玉県さいたま市緑区大門から埼玉県さいたま市岩槻区加倉まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)
 4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道高速葛飾川口 線 東北縦貫自動車 道 弘前線 常磐自動車道	埼玉県川口市	立体接続	川口ジャンクション
一般国道122号	埼玉県 さいたま市	立体接続	浦和インターチェンジ

(4)工事予算

626億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 45年 6月 9日

工事の完成年月日 平成 14年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線

(埼玉県さいたま市岩槻区加倉から宮城県仙台市太白区茂庭字人来田山まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県さいたま市岩槻区加倉 から

宮城県仙台市太白区茂庭字人来田山 まで

(ロ) 延 長 316.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県さいたま市 岩槻区加倉 から 栃木県佐野市西浦町原 まで	120	44.4	
栃木県佐野市西浦町原 から 宮城県刈田郡蔵王町 大字下原田 まで	100	245.6	
宮城県刈田郡蔵王町 大字下原田 から 宮城県仙台市太白区 茂庭字人来田山 まで	80	26.8	

(ハ) 設計自動車荷重 20トン

(ニ) 車線の幅員 3.50メートル (一部3.75メートル)

別紙 1

(水)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
埼玉県さいたま市 岩槻区加倉 から 栃木県鹿沼市茂呂 まで	6車線	6車線	
栃木県鹿沼市茂呂 から 宮城県仙台市太白区 茂庭字人来田山 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	3.00×2	6.00	3.00×2	1.75×2	9.50	側帯幅員0.75m
	2.25×2	4.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.25×2	4.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
	-	-	1.00×2	1.00×2	4.00	側帯幅員0.75m
	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	3.25×2	6.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
	3.00×2	6.00	3.00×2	1.75×2	9.50	側帯幅員0.75m
	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	3.25×2	6.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50×2	5.00	2.50×2	1.25×2	7.50	側帯幅員0.75m
	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m

上段:岩槻ICから鹿沼ICまで
 中上段:鹿沼ICから福島ICまで
 中下段:福島ICから蔵王ICまで
 下段:蔵王から仙台南ICまで

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 4.00メートル
4.50メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道16号	埼玉県 さいたま市	立体接続	岩槻インターチェンジ
一般国道468号 (首都圏中央連絡 自動車道)	埼玉県久喜市 埼玉 県南埼玉郡白岡町	立体接続	久喜白岡ジャンクション (仮称)
県道さいたま 栗橋線	埼玉県久喜市	立体接続	久喜インターチェンジ
一般国道125号	埼玉県加須市	立体接続	加須インターチェンジ
県道羽生栗橋線	埼玉県羽生市	立体接続	羽生インターチェンジ
一般国道354号	群馬県館林市	立体接続	館林インターチェンジ
一般国道50号	栃木県佐野市	立体接続	佐野藤岡 インターチェンジ
北関東自動車道	栃木県下都賀 郡岩舟町	立体接続	岩舟ジャンクション (仮称)
県道栃木粕尾線	栃木県栃木市	立体接続	栃木インターチェンジ
北関東自動車道	栃木県下都賀 郡都賀町	立体接続	栃木都賀ジャンクション
一般国道121号	栃木県鹿沼市	立体接続	鹿沼インターチェンジ
一般国道119号	栃木県 宇都宮市	立体接続	宇都宮インターチェンジ
一般国道4号 県道矢板那須線	栃木県矢板市	立体接続	矢板インターチェンジ
一般国道400号	栃木県那須 塩原市	立体接続	西那須野塩原 インターチェンジ
県道大田原 高林線	栃木県那須 塩原市	立体接続	黒磯インターチェンジ (仮称)

別紙 1

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道那須高原線	栃木県那須郡 那須町	立体接続	那須インターチェンジ
一般国道4号	福島県西白河 郡西郷村	立体接続	白河インターチェンジ
一般国道4号 県道矢吹小野線	福島県西白河 郡矢吹町	立体接続	矢吹インターチェンジ
県道中野 須賀川田島線	福島県須賀川 市	立体接続	須賀川インターチェンジ
県道郡山長沼線	福島県郡山市	立体接続	郡山南インターチェンジ
一般国道49号	福島県郡山市	立体接続	郡山インターチェンジ
東北横断自動車 道いわき新潟線	福島県郡山市	立体接続	郡山ジャンクション
一般国道4号	福島県安達郡 本宮町	立体接続	本宮インターチェンジ
一般国道459号	福島県二本松 市	立体接続	二本松インターチェンジ
一般国道115号	福島県福島市	立体接続	福島西インターチェンジ
一般国道13号	福島県福島市	立体接続	福島飯坂 インターチェンジ
県道白石国見線	福島県伊達郡 国見町	立体接続	国見インターチェンジ
一般国道4号	宮城県白石市	立体接続	白石インターチェンジ
県道亘理大河原 川崎線	宮城県柴田郡 村田町	立体接続	村田インターチェンジ
東北横断自動車 道酒田線	宮城県柴田郡 村田町	立体接続	村田ジャンクション
一般国道286号 県道仙台南インター線	宮城県仙台市	立体接続	仙台南インターチェンジ

別紙 1

(4) 工事予算 3,047 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 3 月 17 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線(宮城県仙台市太白区茂庭から岩手県盛岡市平賀新田まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮城県仙台市太白区茂庭 から

岩手県盛岡市平賀新田 まで

(ロ) 延 長 185.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

設 計 区 間	道路区分	摘 要
宮城県仙台市太白区茂庭 から 宮城県仙台市泉区七北田 まで	第1種第3級	(道路構造令)
宮城県仙台市泉区七北田 から 岩手県一関市赤萩 まで	第1種第2級	(道路構造令)

別紙 1

岩手県一関市赤萩 から 岩手県胆沢郡前沢町 大字養ヶ森 まで	第1種第3級	(道路構造令)
岩手県胆沢郡前沢町 大字養ヶ森 から 岩手県盛岡市平賀新田 まで	第1種第2級	(道路構造令)

(口)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
宮城県仙台市太白区茂庭 から 宮城県仙台市泉区七北田 まで	80	19.3	
宮城県仙台市泉区七北田 から 岩手県一関市赤萩 まで	100	74.2	
岩手県一関市赤萩 から 岩手県胆沢郡前沢町 大字養ヶ森 まで	80	11.5	
岩手県胆沢郡前沢町 大字養ヶ森 から 岩手県盛岡市羽場 まで	120	73.3	
岩手県盛岡市羽場 から 岩手県盛岡市平賀新田 まで	100	7.0	

(二)車線の幅員 3.50メートル

別紙 1

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮城県仙台市太白区茂庭 から 岩手県盛岡市平賀新田 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

仙台市太白区から仙台市泉区まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

仙台市泉区から盛岡市まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅0.75m含む
トンネル部分	-	-	1.00×2		2.00	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

上段:仙台市太白区から仙台市泉区までと、一関市から前沢町まで

下段:仙台市泉区から盛岡市まで(一関市～前沢町を除く)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道48号	宮城県仙台市	立体接続	仙台宮城 インターチェンジ
一般国道4号	宮城県仙台市	立体接続	泉インターチェンジ
一般国道47号 (仙台北部道路)	宮城県黒川郡 富谷町	立体接続	富谷ジャンクション (仮称)
県道塩釜吉岡線	宮城県黒川郡 大和町	立体接続	大和インターチェンジ
一般国道47号	宮城県古川市	立体接続	古川インターチェンジ
一般国道4号	宮城県栗原市	立体接続	築館インターチェンジ
県道中田栗駒線	宮城県栗原市	立体接続	若柳金成 インターチェンジ
一般国道342号	岩手県一関市	立体接続	一関インターチェンジ
一般国道4号	岩手県西磐井 郡平泉町	立体接続	平泉前沢 インターチェンジ

別紙 1

一般国道4号	岩手県水沢市	立体接続	水沢インターチェンジ
県道北上金ヶ崎 インター線	岩手県北上市	立体接続	北上金ヶ崎 インターチェンジ
東北横断自動車道 釜石秋田線	岩手県北上市	立体接続	北上ジャンクション
一般国道107号	岩手県北上市	立体接続	北上江釣子 インターチェンジ
県道花巻大曲線	岩手県花巻市 南方丁目	立体接続	花巻南 インターチェンジ
東北横断自動車道 釜石秋田線	岩手県花巻市	立体接続	花巻ジャンクション
県道花巻衣川線	岩手県花巻市	立体接続	花巻インターチェンジ
県道紫波インター線	岩手県紫波郡 紫波町	立体接続	紫波インターチェンジ
県道上米内湯沢 線	岩手県盛岡市	立体接続	盛岡南 インターチェンジ
一般国道46号	岩手県盛岡市	立体接続	盛岡インターチェンジ

(4) 工事予算

2,608 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 4 月 1 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線(岩手県盛岡市平賀新田から岩手県岩手郡安代町字小柳田まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岩手県盛岡市平賀新田 から
 岩手県岩手郡安代町字小柳田 まで

(ロ) 延 長 51.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 岩手県盛岡市平賀新田 から 岩手県岩手郡西根町平笠 まで
 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
 岩手県岩手郡西根町平笠 から 岩手県岩手郡安代町字小柳田まで

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岩手県盛岡市平賀新田 から 岩手県岩手郡西根町平笠 まで	100	20.1	
岩手県岩手郡西根町平笠 から 岩手県岩手郡安代町字小柳田 まで	80	32.6	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県盛岡市平賀新田 から 岩手県岩手郡安代町字小柳田 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

岩手県盛岡市平賀新田から、岩手県岩手郡滝沢村大字滝沢まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m含む

別 紙 1

岩手県岩手郡滝沢村大字滝沢から、岩手県二戸郡安代町字小柳田まで(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75×2	5.50	2.75	1.50	4.25	側帯幅員0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.5メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道4号	岩手県岩手郡 滝沢村	立体接続	滝沢インターチェンジ
一般国道282号	岩手県岩手郡 西根町	立体接続	西根インターチェンジ
県道柏台松尾線	岩手県岩手郡 松尾村	立体接続	松尾八幡平 インターチェンジ
東北縦貫自動車 道	岩手県岩手郡 安代町	立体接続	安代ジャンクション
一般国道282号	岩手県岩手郡 安代町	立体接続	安代インターチェンジ

(4) 工事予算

1,072 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 45 年 6 月 9 日

工事の完成年月日 昭和 58 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線(岩手県岩手郡安代町字小柳田から秋田県鹿角市十和田まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岩手県岩手郡安代町字小柳田 から
秋田県鹿角市十和田 まで

(ロ) 延 長 35.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岩手県岩手郡安代町字 小柳田 から 秋田県鹿角市十和田 まで	80	35.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県岩手郡安代町字 小柳田 から 秋田県鹿角市十和田 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道282号	秋田県鹿角市	立体接続	鹿角八幡平インターチェンジ

(4)工事予算

966億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 6月 1日

工事の完成年月日 昭和 60年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東北縦貫自動車道 弘前線(秋田県鹿角市十和田から青森県青森市大字三内まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 秋田県鹿角市十和田 から
 青森県青森市大字三内 まで

(ロ) 延 長 78.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
 秋田県鹿角市十和田 から 青森県南津軽郡大鰐町大字八幡館 まで

第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 青森県南津軽郡大鰐町大字八幡館 から 青森県青森市大字三内 まで

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
秋田県鹿角市十和田 から 青森県南津軽郡大鰐町 大字八幡館 まで	80	41.2	
青森県南津軽郡大鰐町 大字八幡館 から 青森県青森市大字三内 まで	100	37.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
青森県鹿角市十和田 から 青森県青森市大字三内 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

秋田県鹿角市十和田から青森県南津軽郡大鰐町大字八幡館まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分	0.75 × 2	1.50	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む。堆雪 余裕度1.5mを含まず
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む。堆雪 余裕度1.5mを含まず

別紙 1

青森県南津軽郡大鰐町大字八幡館から青森県青森市大字三内まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.75m 含む。堆雪 余裕度1.5~2.5mを含まず
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.75m 含む。堆雪 余裕度1.5~2.5mを含まず

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

上段:秋田県鹿角市十和田から青森県南津軽郡大鰐町大字八幡館まで
下段:青森県南津軽郡大鰐町大字八幡館から青森県青森市大字三内まで

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道103号	秋田県鹿角市	立体接続	十和田インターチェンジ
県道大館十和田湖線	秋田県鹿角郡 小坂町	立体接続	小坂インターチェンジ
一般国道7号	青森県南津軽郡 碓ヶ関村	立体接続	碓ヶ関インターチェンジ
一般国道7号	青森県弘前市	立体接続	大鰐弘前インターチェンジ

別紙 1

一般国道102号	青森県黒石市	立体接続	黒石インターチェンジ
一般国道7号 一般国道101号	青森県青森市	立体接続	浪岡インターチェンジ
東北縦貫自動車道	青森県青森市	立体接続	青森ジャンクション
一般国道7号	青森県青森市	平面接続	青森インターチェンジ

(4) 工事予算

1,686 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 4 月 1 日

工事の完成年月日 平成 4 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 八戸線(岩手県岩手郡安代町字湯の沢から岩手県二戸郡一戸町一戸まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県岩手郡 安代町字湯の沢 から 岩手県二戸郡 一戸町一戸 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.25×2	6.50				側帯幅員0.5m含む
切土部分	2.75×2	5.50	2.75	1.00	3.75	
土工部分						側帯幅員0.5m含む
盛土部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2 (1.75×2)	2.50 (3.50)	1.25	1.00	2.25	側帯幅員0.5m含む

切土部分

()は投雪不可の場合

上段:岩手県岩手郡安代町字湯の沢から岩手県岩手郡安代町字土沢まで 堆雪余裕巾 1.5m
下段:岩手県二戸郡浄法寺町大字大清水から岩手県二戸郡一戸町一戸まで 堆雪余裕巾 1.0m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.0メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手郡岩手郡 安代町	立体接続	安代ジャンクション
主要地方道 二戸安代線	岩手郡二戸郡 浄法寺町	立体接続	浄法寺インターチェンジ

(4)工事予算

637 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 2年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東北縦貫自動車道 八戸線(岩手県二戸郡一戸町一戸から青森県八戸市根城まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 八戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岩手県二戸郡一戸町一戸 から
青森県八戸市根城 まで

(ロ) 延 長 41.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
岩手県二戸郡一戸町 一戸 から 青森県八戸市根城 まで	80	41.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県二戸郡一戸町 一戸 から 青森県八戸市根城 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(切土)部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅0.5m含む
土工(盛土)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅0.5m含む

推雪拡幅量 0.75m

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道4号	岩手県二戸郡 一戸町	立体接続	一戸インターチェンジ
一般国道340号	岩手県九戸郡 九戸村	立体接続	九戸インターチェンジ
一般国道340号	岩手県九戸郡 軽米町	立体接続	軽米インターチェンジ
県道 名川階上線	青森県八戸市	立体接続	南郷インターチェンジ
一般国道45号 (八戸久慈自動車道)	青森県八戸市	立体接続	八戸ジャンクション
県道 八戸環状線	青森県八戸市	平面接続	八戸インターチェンジ

(4) 工事予算

1,116 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 10 月 19 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東北縦貫自動車道 八戸線(青森県八戸市櫛引から青森県八戸市市川町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 八戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 青森県八戸市櫛引 から
 青森県八戸市市川町 まで

(ロ) 延 長 14.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
青森県八戸市櫛引 から 青森県八戸市市川町 まで	80	14.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
青森県八戸市櫛引 から 青森県八戸市市川町 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道45号 (八戸久慈自動車道)	青森県八戸市	立体接続	八戸ジャンクション
一般国道45号	青森県八戸市	立体接続	八戸北インターチェンジ
一般国道45号 (百石道路)	青森県八戸市	平面接続	本線

(4)工事予算

445 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東北縦貫自動車道 八戸線(青森県青森市諏訪沢から青森県青森市岩渡まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 八戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 青森県青森市諏訪沢 から
 青森県青森市岩渡 まで

(ロ) 延 長 15.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
青森県青森市諏訪沢 から 青森県青森市岩渡 まで	100	15.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
青森県青森市諏訪沢 から 青森県青森市岩渡 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.25+1.75	4.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車道 弘前線	青森県青森市	立体接続	青森 ジャンクション
県道青森環状野内線 県道青森東インター線	青森県青森市	平面接続	青森東 インターチェンジ
一般国道7号	青森県青森市	立体接続	青森中央 インターチェンジ

(4)工事予算

629 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 釜石秋田線(岩手県和賀郡東和町安俵から岩手県花巻市西宮野目まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県和賀郡東和町 安儀 から 岩手県花巻市西宮野目 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道北上東和線	岩手県和賀郡 東和町	立体接続	東和インターチェンジ
県道花巻空港 インター線	岩手県花巻市	立体接続	花巻空港 インターチェンジ
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県花巻市	立体接続	花巻ジャンクション

(4)工事予算

411 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5年 12月 4日

工事の完成予定年月日 平成 26年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 釜石秋田線(岩手県北上市鬼柳町から岩手県北上市和賀町山口まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 釜石秋田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岩手県北上市鬼柳町 から
 岩手県北上市和賀町山口 まで

(ロ) 延 長 9.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岩手県北上市鬼柳町 から 岩手県北上市和賀町山口 まで	80	9.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岩手県北上市鬼柳町 から 岩手県北上市和賀町山口 まで	2 車線	4 車線	暫定施 工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.25 × 2	6.50	-	-	-	堆雪余裕巾含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.50 × 2	3.00	-	-	-	

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県北上市	立体接続	北上ジャンクション
県道北上西 インター線	岩手県北上市	立体接続	北上西インターチェンジ

(4)工事予算

199 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 61 年 4 月 6 日

工事の完成年月日 平成 7 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 釜石秋田線(岩手県北上市和賀町から岩手県和賀郡湯田町第57地割まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 釜石秋田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岩手県北上市和賀町 から
 岩手県和賀郡湯田町第57地割 まで

(ロ) 延 長 20.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岩手県北上市和賀町 から 岩手県和賀郡湯田町第57地割 まで	80	20.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県北上市和賀町 から 岩手県和賀郡 湯田町第57地割 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
	3.00×2	6.00				
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2 (1.25×2)	3.50 (2.50)	-	-	-	側帯幅0.5m含む

上段:岩手県北上市和賀町から岩手県和賀郡湯田町仙人山まで

下段:岩手県和賀郡湯田町仙人山から岩手県和賀郡湯田町第57地割まで

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法 なし

(4)工事予算

853 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63 年 9 月 13 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 釜石秋田線(岩手県和賀郡湯田町第57地割から秋田県横手市新藤柳田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 釜石秋田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岩手県和賀郡湯田町第57地割 から
 秋田県横手市新藤柳田 まで

(ロ) 延 長 19.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
岩手県和賀郡湯田町 第57地割 から 秋田県横手市新藤柳田 まで	80	19.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岩手県和賀郡湯田町 第57地割 から 秋田県横手市新藤柳田 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
	2.50×2	5.00				
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

上段 : 岩手県和賀郡湯田町第57地割から秋田県横手市大屋新町まで

下段 : 秋田県横手市大屋新町から秋田県横手市新藤柳田まで

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道107号	岩手県和賀郡 湯田町	立体接続	湯田インターチェンジ

(4)工事予算

579 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 61 年 4 月 6 日

工事の完成年月日 平成 8 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 釜石秋田線(秋田県横手市新藤柳田から秋田県秋田市上北手古野まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 釜石秋田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 秋田県横手市新藤柳田 から

秋田県秋田市上北手古野 まで

(ロ) 延 長 57.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
秋田県横手市新藤柳田 から 秋田県秋田市上北手古野 まで	80	57.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
秋田県横手市新藤柳田 から 秋田県大仙市大字 内小友 まで	2 車線	4 車線	暫定施工
秋田県大仙市大字 から 内小友 から 秋田県秋田市上北手古野 まで	4 車線	4 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 + (2.50 × 2)	5.00	(2.50)	(2.50)	(5.00)	側帯幅0.5m含む = 堆雪余裕巾
トンネル部分	-	-	(0.75)	(0.75)	(1.50)	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 (1.75 × 2)	1.75 (3.50)	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 (1.75 × 2)	1.25 (3.50)	-	-	-	側帯幅0.5m含む

()は、暫定施工

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道13号	秋田県横手市	立体接続	横手インターチェンジ
一般国道13号 (湯沢横手道路)	秋田県横手市	立体接続	横手インターチェンジ
一般国道105号	秋田県大仙市	立体接続	大曲インターチェンジ
高速自動車国道活用施設(地域 情報提供施設)の通路(町道赤 坂・強首線に連結)	秋田県大仙市	立体接続	西仙北 インターチェンジ
県道 協和松ヶ崎線	秋田県大仙市	立体接続	協和インターチェンジ
日本海沿岸東北自動車道	秋田県秋田市	立体接続	河辺ジャンクション
一般国道13号	秋田県秋田市	立体接続	秋田南 インターチェンジ

(4)工事予算

1,373 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 釜石秋田線(秋田県秋田市上北手古野から秋田県秋田市上新城道川まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
秋田県秋田市上北手古野 から 秋田県秋田市上新城道川 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.75m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道秋田北野田線	秋田県秋田市	立体接続	秋田中央インターチェンジ
一般国道7号 県道秋田北インター線	秋田県秋田市	立体接続	秋田北インターチェンジ
一般国道7号 (秋田外環状道路)	秋田県秋田市	平面接続	本線

(4)工事予算

499 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 4 月 26 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(宮城県柴田郡村田町大字足立から宮城県柴田郡川崎町大字今宿まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮城県柴田郡村田町大字足立 から

宮城県柴田郡川崎町大字今宿 まで

(ロ) 延 長 22.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮城県柴田郡村田町大 字足立 から 宮城県柴田郡川崎町大 字今宿 まで	80	22.4	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43及び25tf(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮城県柴田郡村田町大字足立から 宮城県柴田郡川崎町大字今宿まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
	2.75×2	5.50	2.75	1.00	3.75	
	3.00×2	6.00	3.00	1.00	4.00	
トンネル部分	0.75×2	1.50	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅0.5m含む

中段(堆雪巾 1.0m) 宮城県柴田郡村田町大字足立から
宮城県柴田郡川崎町大字今宿まで
(堆雪巾 1.5~2.5m) 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字丁塚から
宮城県柴田郡川崎町大字今宿字山岸まで

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車道 弘前線	宮城県柴田郡 川崎町	立体接続	村田ジャンクション
一般国道286号	宮城県柴田郡 川崎町	立体接続	宮城川崎インターチェンジ
一般国道286号	宮城県柴田郡 川崎町	立体接続	笹谷インターチェンジ

(4)工事予算

597億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 11年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(宮城県柴田郡川崎町大字今宿から山形県山形市大字関沢まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮城県柴田郡川崎町大字今宿 から
 山形県山形市大字関沢 まで

(ロ) 延 長 5.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮城県柴田郡川崎町 大字今宿 から 山形県山形市大字関沢 まで	80	5.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮城県柴田郡川崎町 大字今宿 から 山形県山形市大字関沢 まで	4 車線	4 車線	4車線拡幅

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(切土)部分	-	-	3.00	1.00	4.00	側帯幅0.50m含む
土工(盛土)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法 な し

(4)工事予算

206億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 3月 23日

工事の完成年月日 平成 17年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(山形県山形市大字関沢から山形県山形市大字釈迦堂まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県山形市大字関沢 から
山形県山形市大字釈迦堂 まで

(ロ) 延 長 6.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
山形県山形市大字関沢 から 山形県山形市大字釈迦堂 まで	80	6.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
山形県山形市大字関沢 から 山形県山形市大字釈迦堂 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(切土)部分	-	-	4.25 ¹	1.00	5.25	側帯幅0.5m含む
			3.25 ²	1.00	4.25	
土工(盛土)部分	-	-	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	1.75	2.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	1.25	1.00	2.25	側帯幅0.5m含む

1:(堆雪余裕巾2.50m)山形県山形市大字関沢から山形県山形市大字新山まで

2:(堆雪余裕巾1.50m)山形県山形市大字新山から山形県山形市大字釈迦堂まで

(ト)中央帯の標準幅員

全区間往復分離

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道286号	山形県山形市	立体接続	関沢インターチェンジ

(4)工事予算

442 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成年月日 平成 11 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(山形県山形市大字釈迦堂から山形県寒河江市大字高屋まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県山形市大字釈迦堂 から
 山形県寒河江市大字高屋 まで

(ロ) 延 長 18.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
 山形県山形市大字釈迦堂 から 山形県山形市大字青野まで
 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 山形県山形市大字青野 から 山形県寒河江市大字高屋まで

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山形県山形市大字釈迦堂 から 山形県山形市大字青野 まで	80	6.7	
山形県山形市大字青野 から 山形県寒河江市大字高屋 まで	100	11.4	

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員

3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
山形県山形市大字釈迦堂 から 山形県山形市大字 流通センター まで	4車線	4車線	
山形県山形市大字 流通センター から 山形県寒河江市大字高屋 まで	2車線	4車線	暫定施工

別紙 1

(へ)路肩の標準幅員

山形県山形市大字釈迦堂 から 山形県山形市大字流通センターまで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75+1.00 (2.25)	2.75 (2.25)	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	0.75	0.75	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	- 1.75+1.00	- 2.75	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	- -	- -	- -	- -	- -	

完成4車線 () : 堆雪余裕巾

山形県山形市大字流通センター から 山形県寒河江市大字高屋まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.75m含む
トンネル部分	- -	- -	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.75m含む

暫定2車線

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)
山形県山形市大字釈迦堂から山形県山形市大字青野まで
-
山形県山形市大字青野から山形県寒河江市大字高屋まで

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道286号	山形県山形市	立体接続	山形蔵王インターチェンジ
一般国道13号	山形県山形市	立体接続	山形北インターチェンジ
東北中央自動車道 相馬尾花沢線	山形県山形市	立体接続	山形ジャンクション
一般国道112号	山形県寒河江市	立体接続	寒河江インターチェンジ

(4) 工事予算

815 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 10 月 19 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(山形県寒河江市大字高屋から山形県西村山郡西川町大字月山沢まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県寒河江市大字高屋 から
 山形県西村山郡西川町大字月山沢 まで

(ロ) 延 長 30.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
山形県寒河江市 大字高屋 から 山形県西村山郡西川町 大字月山沢 まで	80	30.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県寒河江市 大字高屋 から 山形県西村山郡西川町 大字月山沢 まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

山形県寒河江市大字高屋から山形県寒河江市大字谷沢まで(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

別紙 1

山形県寒河江市大字谷沢から山形県西村山郡西川町大字月山沢まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道112号	山形県西村山郡 西川村	立体接続	西川インターチェンジ
一般国道112号	山形県西村山郡 西川村	平面接続	月山インターチェンジ

(4)工事予算

1,281 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 9 月 18 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(山形県東田川郡朝日村大字田麦俣から山形県東田川郡朝日村大字越中山まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県東田川郡朝日村大字田麦俣 から
 山形県東田川郡朝日村大字越中山 まで

(ロ) 延 長 8.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山形県東田川郡朝日村 大字田麦俣 から 山形県東田川郡朝日村 大字越中山 まで	80	8.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県東田川郡朝日村 大字田麦俣 から 山形県東田川郡朝日村 大字越中山 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道112号	山形県東田川郡 朝日村	平面接続	湯殿山インターチェンジ

(4)工事予算

468 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2年 9月 18日

工事の完成年月日 平成 13年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 酒田線(山形県東田川郡朝日村大字越中山から山形県酒田市大字広野まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県東田川郡朝日村大字越中山 から
 山形県酒田市大字広野 まで

(ロ) 延 長 32.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山形県東田川郡朝日村 大字越中山 から 山形県酒田市大字広野 まで	80	32.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県東田川郡朝日村 大字越中山 から 山形県酒田市大字広野 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
	2.50×2	5.00	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2 (1.25×2)	3.50 (2.50)	-	-	-	側帯幅0.5m含む

()は4車施工区間

上段:山形県東田川郡朝日村大字越中山から、山形県鶴岡市小淀川まで
下段:山形県鶴岡市小淀川から、山形県酒田市大字広野まで

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道余目温海線	山形県東田川郡 朝日村	立体接続	庄内あさひインターチェンジ
一般国道7号	山形県鶴岡市	立体接続	鶴岡インターチェンジ
県道庄内空港立川線	山形県酒田市	立体接続	庄内空港インターチェンジ
一般国道7号	山形県酒田市	立体接続	酒田インターチェンジ

(4)工事予算

923 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63 年 9 月 13 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東北横断自動車道 酒田線(山形県酒田市大字広野から山形県酒田市大字藤塚まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 酒田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県酒田市大字広野 から
山形県酒田市大字藤塚 まで

(ロ) 延 長 11.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山形県酒田市大字広野 から 山形県酒田市大字藤塚 まで	100	11.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県酒田市大字広野 から 山形県酒田市大字藤塚 まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
	1.75×2	3.50				
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

上段 : 山形県酒田市大字広野から山形県酒田市大字遊摺部まで

下段 : 山形県酒田市大字遊摺部から山形県酒田市大字藤塚まで

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道酒田八幡線	山形県酒田市	平面接続	酒田みなとインターチェンジ

(4)工事予算

446 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 9 月 18 日

工事の完成年月日 平成 14 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 いわき新潟線(福島県いわき市内郷宮町から福島県郡山市喜久田町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県いわき市内郷宮町 から
福島県郡山市喜久田町 まで

(ロ) 延 長 72.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福島県いわき市 内郷宮町 から 福島県郡山市 喜久田町 まで	80	72	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
福島県いわき市 内郷宮町 から 福島県郡山市 喜久田町 まで	4車線	4車線	4車線化

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
常磐自動車道	福島県いわき市 内郷宮町	立体接続	いわきジャンクション
一般国道49号	福島県いわき市 三和町	立体接続	いわき三和インターチェンジ
一般国道349号 県道矢吹小野町線	福島県田村郡 小野町	立体接続	小野インターチェンジ
一般国道288号	福島県 田村市	立体接続	船引三春インターチェンジ
一般国道288号	福島県郡山市	立体接続	郡山東インターチェンジ
東北縦貫自動車道 弘前線	福島県郡山市	立体接続	郡山ジャンクション

(4)工事予算

2,896 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 62 年 9 月 13 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 いわき新潟線(福島県郡山市喜久田町坪沢から福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県郡山市喜久田町坪沢 から
福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田 まで

(ロ) 延 長 26.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福島県郡山市喜久田町 坪沢 から 福島県耶麻郡猪苗代町 大字堅田 まで	80	26.4	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
福島県郡山市喜久田町 坪沢 から 福島県耶麻郡猪苗代町 大字堅田 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(切土)部分	3.00 × 2	6.00	3.00	1.00	4.00	側帯幅0.50m 及び堆雪巾含む
	3.50 × 2	7.00	3.50	1.00	4.50	
	4.50 × 2	9.00	4.50	1.00	5.50	
土工(盛土)部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.50m含む

上段:堆雪巾0.5m(福島県郡山市喜久田町坪沢から福島県安達郡本宮町大字岩根まで)

中断:堆雪巾1.0m(福島県安達郡本宮町大字岩根から福島県郡山市熱海町高玉まで)

下段:堆雪巾2.0m(福島県郡山市熱海町高玉から福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田まで)

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車道 弘前線	福島県郡山市	立体接続	郡山ジャンクション
主要地方道 中の沢熱海線	福島県郡山市	立体接続	磐梯熱海インターチェンジ
一般国道115号	福島県耶麻郡 猪苗代町	立体接続	猪苗代磐梯高原インターチェンジ

(4)工事予算

1,091 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成予定年月日 平成 13 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 いわき新潟線(福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田から福島県河沼郡会津坂下町大字坂本まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田 から
 福島県河沼郡会津坂下町大字坂本 まで

(ロ) 延 長 34.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福島県耶麻郡猪苗代町 大字堅田 から 福島県河沼郡会津坂下 町大字坂本 まで	80	34.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県耶麻郡猪苗代町 大字堅田 から 福島県会津若松市高野町 大字沼木 まで	4 車線	4 車線	
福島県会津若松市高野町 大字沼木 から 福島県河沼郡会津坂下町 大字坂本 まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田から福島県会津若松市高野町大字沼木まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	4.50 ^{1,3} ×2 5.50 ² ×2	9.00 11.00	-	-	-	側帯幅0.50m及び 堆雪余裕巾含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

別紙 1

福島県会津若松市高野町大字沼木から福島県河沼郡会津坂下町大字坂本まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.75 × 2 ⁴	7.50	3.75		3.75	側帯幅0.50m及び 堆雪余裕巾含む
トンネル部分	-	-	0.75		0.75	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅0.50m含む

1堆雪余裕巾2.0m(福島県耶麻郡猪苗代町大字堅田から福島県耶麻郡猪苗代町大字磐根まで)

2堆雪余裕巾3.0m(福島県耶麻郡猪苗代町大字磐根から福島県河沼郡河東町大字八田まで)

3堆雪余裕巾2.0m(福島県河沼郡河東町大字八田から福島県会津若松市高野町大字沼木まで)

4堆雪余裕巾2.0m(福島県会津若松市高野町大字沼木から福島県河沼郡会津坂下町大字坂本まで)

(ト)中央帯の標準幅員 3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道会津若松磐梯線	福島県河沼郡 河東町	立体接続	磐梯河東インターチェンジ
一般国道121号	福島県 会津若松市	立体接続	会津若松インターチェンジ
一般国道49号	福島県河沼郡 会津坂下町	立体接続	会津坂下インターチェンジ

(4) 工事予算

980 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 59 年 12 月 18 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 いわき新潟線(福島県河沼郡会津坂下町大字坂本から新潟県東蒲原郡阿賀町津川まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県河沼郡会津坂下町大字坂本 から
新潟県東蒲原郡阿賀町津川 まで

(ロ) 延 長 33.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
福島県河沼郡会津坂下町 大字坂本 から 新潟県東蒲原郡 阿賀町津川 まで	80	33.1	

別紙 1

(八)設計自動車荷重

TL - 20及びTT - 43

一部 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員

3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
福島県河沼郡会津坂下町 大字坂本 から 新潟県東蒲原郡 阿賀町津川 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(切土)部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
土工(盛土)部分	2.50×2 ¹	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
	3.00×2 ²	6.00				
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

1 会津坂下から本名トンネル西坑口まで

2 本名トンネル西坑口から津川まで

(ト)中央帯の標準幅員 ー

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道49号	福島県耶麻郡 西会津町	立体接続	西会津インターチェンジ

(4)工事予算

1,277 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63 年 2 月 6 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北横断自動車道 いわき新潟線

(新潟県東蒲原郡阿賀町津川から新潟県新潟市俵柳まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県東蒲原郡阿賀町津川 から

新潟県新潟市俵柳 まで

(ロ) 延 長 46.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県東蒲原郡 阿賀町津川 から 新潟県阿賀野市新保 まで	80	22.9	
新潟県阿賀野市新保 から 新潟県新潟市嘉木 まで	100	21.2	
新潟県新潟市嘉木 から 新潟県新潟市俵柳 まで	80	2.1	

(ハ) 設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン、一部 B活荷重

(ニ) 車線の幅員 3.50メートル

別 紙 1

(水)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
新潟県東蒲原郡 阿賀町津川 から 新潟県新潟市俵柳 まで	2 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	-	-	-	-	-	-
盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

上段:新潟県東蒲原郡阿賀町津川から新潟県阿賀野市新保まで

下段:新潟県阿賀野市新保から新潟県新潟市俵柳まで

盛土部分

中段:安田ICから新津ICまで

下段:新津ICから新潟ICまで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道津川インター線	新潟県東蒲原 郡阿賀町	立体接続	津川インターチェンジ
町道大岩線	新潟県東蒲原 郡阿賀町	立体接続	三川インターチェンジ
県道白根安田線	新潟県 阿賀野市	立体接続	安田インターチェンジ
一般国道460号	新潟県新潟市	立体接続	新津インターチェンジ
北陸自動車道	新潟県新潟市	立体接続	新潟中央 ジャンクション
県道新潟亀田 内野線	新潟県新潟市	平面接続	新潟中央 インターチェンジ

(4)工事予算 1,948 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 60 年 3 月 5 日

工事の完成年月日 平成 9 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北横断自動車道 2,963百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

日本海沿岸東北自動車道

(新潟県新潟市江口から新潟県北蒲原郡中条町大字弥彦岡まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

日本海沿岸東北自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県新潟市江口 から
新潟県北蒲原郡中条町大字弥彦岡 まで

(ロ) 延 長 27.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県新潟市江口 から 新潟県北蒲原郡中条町 大字弥彦岡 まで	100	27.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
新潟県新潟市江口 から 新潟県北蒲原郡中条町 大字弥彦岡 まで	2 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道新潟 大外環状線	新潟県新潟市	立体接続	豊栄新潟東港インターチェンジ
一般国道7号	新潟県北蒲原 郡聖籠町	立体接続	聖籠新発田インターチェンジ
県道中条 インター線	新潟県北蒲原 郡中条町	立体接続	中条インターチェンジ

(4)工事予算

1,296 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 日本海沿岸東北自動車道 8,370百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

日本海沿岸東北自動車道

(新潟県北蒲原郡中条町大字弥彦岡から新潟県岩船郡荒川町大字新光寺まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

日本海沿岸東北自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県北蒲原郡中条町大字弥彦岡 から
新潟県岩船郡荒川町大字新光寺 まで

(ロ) 延 長 9.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県北蒲原郡中条町 大字弥彦岡 から 新潟県岩船郡荒川町 大字新光寺 まで	100	9.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
新潟県北蒲原郡中条町 大字弥彦岡 から 新潟県岩船郡荒川町 大字新光寺 まで	2車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道113号	新潟県岩船郡 荒川町	立体接続	荒川インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

424 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 4 月 17 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 日本海沿岸東北自動車道 8,370百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

日本海沿岸東北自動車道

(新潟県岩船郡荒川町大字新光寺から新潟県岩船郡朝日村大字上野まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

日本海沿岸東北自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県岩船郡荒川町大字新光寺 から
新潟県岩船郡朝日村大字上野 まで

(ロ) 延 長 19.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県岩船郡荒川町 大字新光寺 から 新潟県岩船郡朝日村 大字上野 まで	100	19.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
新潟県岩船郡荒川町 大字新光寺 から 新潟県岩船郡朝日村 大字上野 まで	2車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道神林村上線	新潟県岩船郡 神林村	立体接続	村上インターチェンジ (仮称)
県道小揚猿沢線	新潟県岩船郡 朝日村	平面接続	朝日インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

916 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 日本海沿岸東北自動車道 8,370百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

日本海沿岸東北自動車道 (秋田県由利本荘市岩城内道川から秋田県秋田市河辺戸島まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
秋田県由利本荘市 岩城内道川 から 秋田県秋田市 河辺戸島 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 -

別紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 雄和岩城線	秋田県由利 本荘市岩城	立体接続	岩城インターチェンジ
県道 秋田御所野雄和線	秋田県秋田市 河辺	立体接続	秋田空港インターチェンジ
東北横断自動車道 釜石秋田線	秋田県秋田市 河辺	立体接続	河辺ジャンクション

(4)工事予算

621 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 20 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 日本海沿岸東北自動車道 8,370百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**日本海沿岸東北自動車道 (秋田県潟上市昭和大久保から秋田県山本郡琴丘町鹿渡まで) に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

日本海沿岸東北自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 秋田県潟上市昭和大久保 から
 秋田県山本郡琴丘町鹿渡 まで

(ロ) 延 長 20.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
秋田県潟上市昭和大久保 から 秋田県山本郡琴丘町鹿渡 まで	100	20.7	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
秋田県潟上市昭和久保から 秋田県山本郡琴丘町 鹿渡まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 -

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道7号	秋田県秋田市 秋田県潟上市昭和	立体接続	昭和男鹿半島インターチェンジ
一般国道7号 (秋田外環状道路)	秋田県秋田市 秋田県潟上市昭和	平面接続	本線
主要地方道 秋田八郎潟線	秋田県南秋田郡 五城目町	立体接続	五城目八郎潟インターチェンジ
一般国道7号 主要地方道琴丘上小阿仁線	秋田県山本郡 琴丘町	立体接続	琴丘森岳インターチェンジ
一般国道7号 (琴丘能代道路)	秋田県山本郡 琴丘町	平面接続	本線

(4)工事予算

558 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 日本海沿岸東北自動車道 8,370百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東北中央自動車道 相馬尾花沢線(山形県上山市金瓶から山形県東根市大字羽入まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県上山市金瓶 から 山形県東根市大字羽入 まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 -

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 13号	山形県山形市	立体接続	山形上山インターチェンジ
県道山形朝日線	山形県山形市	立体接続	山形中央インターチェンジ
東北横断自動車道 酒田線	山形県山形市	立体接続	山形ジャンクション
県道天童大江線	山形県天童市	立体接続	天童インターチェンジ
一般国道287号	山形県東根市	立体接続	東根インターチェンジ

(4)工事予算

1,282 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北中央自動車道 2,256百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北中央自動車道相馬尾花沢線(山形県東根市大字羽入から山形県尾花沢市大字尾花沢まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山形県東根市大字羽入 から
 山形県尾花沢市大字尾花沢 まで

(ロ) 延 長 23.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山形県東根市 大字羽入 から 山形県尾花沢市 大字尾花沢 まで	100	23.3	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
山形県東根市 大字羽入 から 山形県尾花沢市 大字尾花沢 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

—

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道287号	山形県東根市	立体接続	東根インターチェンジ
県道 寒河江村山線	山形県村山市	立体接続	村山インターチェンジ(仮称)
一般国道13号 一般国道347号	山形県 尾花沢市	立体接続	尾花沢インターチェンジ(仮称)
一般国道13号 (尾花沢新庄道路)	山形県 尾花沢市	平面接続	本線

(4)工事予算

902 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 28 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北中央自動車道 2,256百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 新潟線

(東京都練馬区三原台から埼玉県川越市大字大塚新田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 東京都練馬区三原台 から
埼玉県川越市大字大塚新田 まで

(ロ) 延長 20.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
東京都練馬区三原台 から 埼玉県新座市大字片山 まで	80	3.5	
埼玉県新座市大字片山 から 埼玉県川越市大字大塚新田 まで	100	17.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 20トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都練馬区三原台 から 埼玉県川越市大字 大塚新田 まで	6 車線	6 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

上段:東京都練馬区三原台から埼玉県新座市大字片山まで

下段:埼玉県新座市大字片山から埼玉県川越市大字大塚新田まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

東京都練馬区から埼玉県新座市大字片山まで
3.00メートル及び2.50メートル

埼玉県新座市大字片山から埼玉県川越市大字大塚新田まで
3.50メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
都道練馬所沢線	東京都練馬区	平面接続	練馬インターチェンジ
東北縦貫自動車 道 弘前線	東京都練馬区	立体接続	大泉ジャンクション
一般国道463号	埼玉県所沢市	立体接続	所沢インターチェンジ

(4)工事予算

1,100億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 3月 17日

工事の完成年月日 平成 10年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 新潟線

(埼玉県川越市大字大塚新田から埼玉県東松山市大字石橋まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県川越市大字大塚新田 から
 埼玉県東松山市大字石橋 まで

(ロ) 延 長 19.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県川越市 大字大塚新田 から 埼玉県東松山市 大字石橋 まで	120	19.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン

(二)車線の幅員 3.50メートル (一部3.75メートル)

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
埼玉県川越市 大字大塚新田 埼玉県東松山市 大字石橋	から まで	6車線	6車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道16号	埼玉県川越市	立体接続	川越インターチェンジ
一般国道468号 (首都圏中央連絡 自動車道)	埼玉県 鶴ヶ島市	立体接続	鶴ヶ島ジャンクション
一般国道407号	埼玉県 鶴ヶ島市	立体接続	鶴ヶ島インターチェンジ
一般国道254号 県道深谷東松山線	埼玉県 東松山市	立体接続	東松山インターチェンジ

(4)工事予算

1,048億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43年 4月 1日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 新潟線

(埼玉県東松山市大字石橋から群馬県渋川市中村まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県東松山市大字石橋 から
群馬県渋川市中村 まで

(ロ) 延 長 63.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県東松山市 大字石橋 から 群馬県渋川市中村 まで	120	63.6	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 25トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員
 6車線区間 3.50メートル (左側車線)
 3.75メートル (中央車線)
 3.50メートル (右側車線)
 4車線区間 3.50メートル (左側車線)
 3.75メートル (右側車線)

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
埼玉県東松山市 大字石橋 から 群馬県高崎市中尾町 まで	6車線	6車線	
群馬県高崎市中尾町 から 群馬県渋川市中村 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切工盛土部分	3.00×2	6.00	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道熊谷小川 秩父線	埼玉県比企郡 嵐山町	立体接続	嵐山小川 インターチェンジ
一般国道140号	埼玉県大里郡 花園町	立体接続	花園インターチェンジ
一般国道462号	埼玉県本庄市	立体接続	本庄児玉 インターチェンジ
関越自動車道 上越線	群馬県藤岡市	立体接続	藤岡ジャンクション
県道前橋長瀬線	群馬県藤岡市	立体接続	藤岡インターチェンジ
北関東自動車道	群馬県高崎市	立体接続	高崎ジャンクション
県道高崎駒形線	群馬県高崎市	立体接続	高崎インターチェンジ
一般国道17号	群馬県高崎市	立体接続	前橋インターチェンジ
一般国道17号	群馬県渋川市	立体接続	渋川伊香保 インターチェンジ

(4)工事予算

2,745 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 45 年 6 月 9 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 新潟線

(群馬県渋川市中村から群馬県利根郡月夜野町大字後閑まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 群馬県渋川市中村 から
群馬県利根郡月夜野町大字後閑 まで

(ロ) 延 長 28.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
群馬県渋川市中村 から 群馬県利根郡月夜野町 大字後閑 まで	80	28.5	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
群馬県渋川市中村 から 群馬県利根郡月夜野町 大字後閑 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道大間々 子持線	群馬県勢多郡 赤城村	立体接続	赤城インターチェンジ
県道昭和 インター線	群馬県利根郡 昭和村	立体接続	昭和インターチェンジ
一般国道120号	群馬県沼田市	立体接続	沼田インターチェンジ
一般国道17号	群馬県利根郡 月夜野町	立体接続	月夜野インターチェンジ

(4)工事予算

1,482億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 6月 1日

工事の完成年月日 平成 10年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 新潟線

(群馬県利根郡月夜野町大字後閑から新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 群馬県利根郡月夜野町大字後閑 から
新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立 まで

(ロ) 延 長 34.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
群馬県利根郡月夜野町 大字後閑 から 新潟県南魚沼郡湯沢町 大字神立 まで	80	34.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
群馬県利根郡月夜野町 大字後閑 から 新潟県南魚沼郡湯沢町 大字神立 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	2.50×2	5.00	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m *投雪出来ない 場合
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
	2.50×2	*5.00	2.50	1.00	3.50	

上段:群馬県利根郡月夜野町大字後閑から群馬県利根郡月夜野町大字小川まで
下段:群馬県利根郡月夜野町大字小川から新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

群馬県利根郡月夜野町大字後閑から群馬県利根郡月夜野町大字小川まで
3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

群馬県利根郡月夜野町大字小川から新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立まで
4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道291号	群馬県利根郡 水上町	立体接続	水上インターチェンジ

(4)工事予算

2,251億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成年月日 平成 4年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 新潟線

(新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立から新潟県長岡市大字石動まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 新潟線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立 から
新潟県長岡市大字石動 まで

(ロ) 延 長 77.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県南魚沼郡湯沢町 大字神立 から 新潟県小千谷市 大字新田 まで	80	62.1	
新潟県小千谷市 大字新田 から 新潟県長岡市 大字石動 まで	100	15.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
新潟県南魚沼郡湯沢町 大字神立 から 新潟県長岡市 大字石動 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75×2	5.50	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	

上段:新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立から新潟県小千谷市大字新田まで

下段:新潟県小千谷市大字新田から新潟県長岡市大字石動まで

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道17号	新潟県南魚沼 郡湯沢町	立体接続	湯沢インターチェンジ
県道塩沢大和線	新潟県南魚沼 郡塩沢町	立体接続	塩沢石打 インターチェンジ
一般国道253号	新潟県 南魚沼市	立体接続	六日町インターチェンジ
一般国道291号	新潟県魚沼市	立体接続	小出インターチェンジ
県道堀之内 インター線	新潟県魚沼市	立体接続	堀之内インターチェンジ
県道川口塩殿線	新潟県南魚沼 郡川口町	立体接続	越後川口 インターチェンジ
一般国道291号	新潟県 小千谷市	立体接続	小千谷インターチェンジ

(4)工事予算

2,434 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 6 月 1 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 上越線

(群馬県藤岡市上栗須から長野県佐久市岩村田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 上越線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 群馬県藤岡市上栗須 から
 長野県佐久市岩村田 まで

(ロ) 延 長 69.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
群馬県藤岡市上栗須 から 群馬県碓氷郡松井田町 大字新堀 まで	100	35.0	
群馬県碓氷郡松井田町 大字新堀 から 長野県佐久市岩村田 まで	80	34.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン 及び TT-43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
群馬県藤岡市上栗須 から 長野県佐久市岩村田 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員 0.75m,0.50m
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	0.75×2	1.50	-	-	-	側帯幅員 0.75m,0.50m
	0.75×2	1.50	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員 0.75m,0.50m
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員 0.75m,0.50m
	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	

上段:群馬県藤岡市上栗須から群馬県碓氷郡松井田町大字新堀まで
下段:群馬県碓氷郡松井田町大字新堀から長野県佐久市岩村田まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

藤岡市上栗須から群馬県碓氷郡松井田町大字新堀まで
 4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)
 群馬県碓氷郡松井田町大字新堀から佐久市岩村田まで
 3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道神田吉井 停車場線	群馬県多野郡 吉井町	立体接続	吉井インターチェンジ
市道西富岡 内匠線	群馬県富岡市	立体接続	富岡インターチェンジ
一般国道254号	群馬県甘楽郡 下仁田町	立体接続	下仁田インターチェンジ
県道松井田 下仁田線	群馬県碓氷郡 松井田町	立体接続	松井田妙義 インターチェンジ
県道松井田 軽井沢線	群馬県碓氷郡 松井田町	立体接続	碓氷軽井沢 インターチェンジ
県道佐久 軽井沢線	長野県佐久市	立体接続	佐久インターチェンジ

(4)工事予算

4,192億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 16年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 上越線

(長野県佐久市岩村田から長野県千曲市大字屋代まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 上越線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 長野県佐久市岩村田 から
 長野県千曲市大字屋代 まで

(ロ) 延 長 55.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長野県佐久市岩村田 から 長野県千曲市大字屋代 まで	80	55.1	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン、TL - 25トン(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
長野県佐久市岩村田 から 長野県小諸市大字滝原 まで	4 車線	4 車線	
長野県小諸市大字滝原 から 長野県千曲市大字屋代 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	1.25 × 2	2.50	-	-	-	

上段:長野県佐久市岩村田から長野県千曲市大字屋代まで

下段:長野県小諸市大字御影新田から長野県佐久市伴野まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道142号	長野県佐久市	立体接続	佐久南インターチェンジ (仮称)
県道小諸上田線	長野県小諸市	立体接続	小諸インターチェンジ
県道丸子東部 インター線	長野県東御市	立体接続	東部湯の丸 インターチェンジ
一般国道144号	長野県上田市	立体接続	上田菅平 インターチェンジ
県道坂城 インター線	長野県埴科郡 坂城町	立体接続	坂城インターチェンジ

(4)工事予算

4,246億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 62年 12月 19日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 上越線

(長野県千曲市大字屋代から長野県中野市大字立ヶ花まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 上越線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 長野県千曲市大字屋代 から
 長野県中野市大字立ヶ花 まで

(ロ) 延 長 27.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
長野県千曲市大字屋代 から 長野県中野市 大字立ヶ花 まで	100	27.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長野県千曲市大字屋代 から 長野県中野市 大字立ヶ花 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中央自動車道 長野線	長野県千曲市	立体接続	更埴ジャンクション
県道長野真田線	長野県長野市	立体接続	長野インターチェンジ
一般国道403号	長野県須坂市	立体接続	須坂長野東 インターチェンジ
県道中野豊野線	長野県中野市	立体接続	信州中野 インターチェンジ

(4)工事予算

1,762億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 11月 15日

工事の完成年月日 平成 8年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 上越線

(長野県中野市大字立ヶ花から新潟県上越市中郷区二本木まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 上越線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 長野県中野市大字立ヶ花 から
新潟県上越市中郷区二本木 まで

(ロ) 延 長 38.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長野県中野市 大字立ヶ花 から 新潟県上越市 中郷区二本木 まで	80	38.4	

(ハ) 設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及び B活荷重

(ニ) 車線の幅員 3.50メートル

別紙 1

(水)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
長野県中野市 大字立ヶ花 から 長野県上水内郡信濃町 まで	4 車線	4 車線	
長野県上水内郡信濃町 から 新潟県上越市 中郷区二本木 まで	2 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
	1.25 × 2	2.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	

上段は信州中野IC～信濃町IC間、下段は信濃町IC～中郷IC間を示す。

中野IC～千曲川Br間切土部については、左側路肩を堆雪余裕巾として0.5m拡幅する。

千曲川Br～替佐Br間切土部については、左側路肩を堆雪余裕巾として1.0m拡幅する。

替佐Br～堀越第二TN間切土部については、左側路肩を堆雪余裕巾として2.0m拡幅する。

堀越第二TN～六月VA間切土部については、左側路肩を堆雪余裕巾として3.0m拡幅する。

六月VA～県境間切土部については、左側路肩を堆雪余裕巾として4.0m拡幅する。

県境～中郷IC間切土部については、左側路肩を堆雪余裕巾として5.0m拡幅する。

鴨田Br～中郷IC間盛土部について、左側路肩を除雪余裕巾として1.25m拡幅する。

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道117号	長野県中野市	立体接続	豊田飯山 インターチェンジ
一般国道18号	長野県上水内 郡信濃町	立体接続	信濃町インターチェンジ
一般国道18号	新潟県妙高市	立体接続	妙高高原 インターチェンジ
一般国道18号	新潟県上越市	立体接続	中郷インターチェンジ

(4)工事予算

2,138億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63年 10月 2日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関越自動車道 上越線

(新潟県上越市中郷区二本木から新潟県上越市大字中屋敷まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

関越自動車道 上越線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県上越市中郷区二本木 から
新潟県上越市大字中屋敷 まで

(ロ) 延 長 19.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県上越市 中郷区二本木 から 新潟県上越市 大字中屋敷 まで	100	19.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
新潟県上越市 中郷区二本木 新潟県上越市 大字中屋敷	から 2車線 まで	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 上越南インター線	新潟県上越市	立体接続	上越高田 インターチェンジ
北陸自動車道	新潟県上越市	立体接続	上越ジャンクション

(4)工事予算

828 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 12 月 26 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関越自動車道 7,046百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

常磐自動車道

(埼玉県川口市赤芝新田から埼玉県三郷市番匠免まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県川口市赤芝新田 から
 埼玉県三郷市番匠免 まで

(ロ) 延 長 11.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県川口市赤芝新田 から 埼玉県三郷市番匠免 まで	80	11.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県川口市赤芝新田 から 埼玉県三郷市番匠免 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
橋梁高架部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車 道 弘前線	埼玉県川口市	立体接続	川口ジャンクション
一般国道298号	埼玉県川口市	立体接続	川口東インターチェンジ
一般国道298号	埼玉県草加市	立体接続	草加インターチェンジ
一般国道298号	埼玉県三郷市	立体接続	外環三郷西 インターチェンジ

(4)工事予算

2,273億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 61年 6月 6日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

常磐自動車道

(埼玉県三郷市鷹野から茨城県かすみがうら市大字下志筑まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県三郷市鷹野 から

茨城県かすみがうら市大字下志筑まで

(ロ) 延 長 59.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県三郷市鷹野 から 埼玉県三郷市小谷堀 まで	80	8.9	
埼玉県三郷市小谷堀 から 茨城県かすみがうら市 大字下志筑 まで	120	51.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン 及び 25トン(B活荷)

(二)車線の幅員 3.50メートル 及び 3.75メー

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
埼玉県三郷市鷹野 から 埼玉県三郷市番匠免 まで	4 車線	4 車線	
埼玉県三郷市番匠免 から 茨城県かすみがうら市 大字下志筑 まで	6 車線	6 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00 × 2	6.00				側帯幅員0.75m
トンネル部分	2.00 × 2	4.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00 × 2	6.00				側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00				側帯幅員0.50m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
	2.50 × 2	5.00				側帯幅員0.75m

上段: 埼玉県三郷市鷹野から埼玉県三郷市番匠免まで

中段: 埼玉県三郷市番匠免から埼玉県三郷市小谷堀まで

下段: 埼玉県三郷市小谷堀から茨城県かすみがうら市大字下志筑まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)
 4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市	立体接続	三郷インターチェンジ
東関東自動車道 水戸線	埼玉県三郷市	立体接続	三郷ジャンクション
県道松戸野田線	千葉県流山市	立体接続	流山インターチェンジ
一般国道16号	千葉県柏市	立体接続	柏インターチェンジ
一般国道294号	茨城県筑波郡 谷和原村	立体接続	谷和原インターチェンジ
県道取手つくば線	茨城県 つくば市	立体接続	谷田部インターチェンジ
一般国道468号 (首都圏中央連絡 自動車道)	茨城県 つくば市	立体接続	つくばジャンクション
一般国道354号	茨城県 つくば市	立体接続	桜土浦インターチェンジ
一般国道125号	茨城県土浦市	立体接続	土浦北インターチェンジ
一般国道6号	茨城県かすみ がうら市	立体接続	千代田石岡 インターチェンジ

別紙 1

(4) 工事予算 3,258 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 45 年 6 月 9 日

工事の完成予定年月日 平成 20 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

常磐自動車道

(茨城県かすみがうら市大字下志筑から茨城県日立市砂沢町字空久保まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 茨城県かすみがうら市大字下志筑 から
茨城県日立市砂沢町字空久保 まで

(ロ) 延 長 69.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
茨城県かすみがうら市 大字下志筑 から 茨城県日立市大和田町 まで	120	51.2	
茨城県日立市大和田町 から 茨城県日立市砂沢町 まで	80	18.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル 及び 3.75メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
茨城県かすみがうら市 大字下志筑 から 茨城県水戸市大塚町 まで	6車線	6車線	
茨城県水戸市大塚町 から 茨城県日立市砂沢町 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m

上段:茨城県かすみがうら市大字下志筑から茨城県日立市大和田町まで

下段:茨城県日立市大和田町から茨城県日立市砂沢町まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)
 4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道茨城岩間線	茨城県西茨城 郡岩間町	立体接続	岩間インターチェンジ
北関東自動車道	茨城県茨城郡 友部町	立体接続	友部ジャンクション
一般国道50号	茨城県水戸市	立体接続	水戸インターチェンジ
県道那珂インター 線	茨城県那珂市	立体接続	那珂インターチェンジ
一般国道6号	茨城県日立市	立体接続	日立南太田 インターチェンジ
県道日立中央イ ンター線	茨城県日立市	立体接続	日立中央 インターチェンジ
一般国道6号 県道日立いわき	茨城県日立市	立体接続	日立北 インターチェンジ

(4)工事予算

2,561億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成年月日 平成 17年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**常磐自動車道（茨城県日立市砂沢町から福島県いわき市好間町北好間まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県日立市砂沢町 から 福島県いわき市 好間町北好間 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅0.75m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道高萩インター線	茨城県高萩市	立体接続	高萩インターチェンジ
県道北茨城インター線	茨城県北茨城市	立体接続	北茨城インターチェンジ
一般国道289号	福島県いわき市	立体接続	いわき勿来インターチェンジ
県道いわき石川線	福島県いわき市	立体接続	いわき湯本インターチェンジ
東北横断自動車道 いわき新潟線	福島県いわき市	立体接続	いわきジャンクション
一般国道49号	福島県いわき市	立体接続	いわき中央インターチェンジ

(4)工事予算

1,412億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成年月日 平成 元年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**常磐自動車道（福島県いわき市好間町北好間から福島県いわき市四倉町白岩まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県いわき市好間町北好間 から
 福島県いわき市四倉町白岩 まで

(ロ) 延 長 13.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
福島県いわき市好間町 北好間 から 福島県いわき市四倉町 白岩 まで	100	13.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県いわき市好間町 北好間 から 福島県いわき市四倉町 白岩 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 -

別紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道いわき浪江線 (白岩バイパス)	福島県いわき市	立体接続	いわき四倉インターチェンジ

(4)工事予算

597 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 11 月 15 日

工事の完成年月日 平成 11 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

常磐自動車道（福島県いわき市四倉町中島から福島県双葉郡富岡町大字上手岡まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県いわき市 四倉町中島 から 福島県双葉郡富岡町 大字上手岡 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 -

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道上北迫下北迫 線	福島県双葉郡 広野町	立体接続	広野インターチェンジ
県道小野富岡線	福島県双葉郡 富岡町	立体接続	常磐富岡インターチェンジ

(4)工事予算

1,115 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**常磐自動車道(福島県双葉郡富岡町大字上手岡から福島県相馬市粟津字愛ノ沢)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県双葉郡富岡町大字上手岡 から
福島県相馬市粟津字愛ノ沢 まで

(ロ) 延 長 47.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福島県双葉郡富岡町 大字上手岡 から 福島県相馬市粟津 字愛ノ沢 まで	100	47.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
福島県双葉郡富岡町 大字上手岡 から 福島県相馬市粟津 字愛ノ沢 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道114号	福島県双葉郡 浪江町	立体接続	浪江インターチェンジ(仮称)
県道 原町川俣線	福島県原町市	立体接続	原町インターチェンジ(仮称)
一般国道115号	福島県相馬市	立体接続	相馬インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,691 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 4月 17日

工事の完成予定年月日 平成 25年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

常磐自動車道(福島県相馬市粟津字愛ノ沢から福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字赤柴前まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福島県相馬市粟津字愛ノ沢 から
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字赤柴前 まで

(ロ) 延 長 8.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福島県相馬市粟津字愛ノ沢 から 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字赤柴前 まで	100	8.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
福島県粟津字愛ノ沢 から 福島県相馬郡新地町 駒ヶ嶺字赤柴前 まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

—

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道115号	福島県相馬市	立体接続	相馬インターチェンジ(仮称)
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町	平面接続	新地インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

277 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日

工事の完成予定年月日 平成 26年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**常磐自動車道(宮城県亶理郡山元町小平から宮城県亶理郡亶理町逢隈中泉まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮城県巨理郡山元町小平 から
宮城県巨理郡巨理町逢隈中泉 まで

(ロ) 延 長 11.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮城県巨理郡 山元町小平 から 宮城県巨理郡 巨理町逢隈中泉 まで	100	11.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
宮城県巨理郡 山元町小平 から 宮城県巨理郡 巨理町逢隈中泉 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道6号	宮城県巨理郡 山元町	平面接続	山元インターチェンジ(仮称)
一般国道6号 県道巨理インター線	宮城県巨理郡 巨理町	立体接続	巨理インターチェンジ
一般国道6号 (仙台東部道路)	宮城県巨理郡 巨理町	平面接続	本線

(4)工事予算

459 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 13 年 3 月 27 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道 26,829百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 千葉富津線

(千葉県千葉市中央区浜野町から千葉県木更津市大字大久保まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 千葉富津線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県千葉市中央区浜野町 から
 千葉県木更津市大字大久保 まで

(ロ) 延 長 33.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県千葉市中央区 浜野町 から 千葉県木更津市 大字中烏田 まで	100	31.1	
千葉県木更津市 大字中烏田 から 千葉県木更津市 大字大久保 まで	80	2.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
千葉県千葉市中央区 浜野町 から 千葉県木更津市 大字大久保 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m

上段:千葉県千葉市中央区浜野町から千葉県木更津市大字中烏田まで
下段:千葉県木更津市大字中烏田から千葉県木更津市大字大久保まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

千葉県千葉市中央区浜野町から千葉県木更津市大字中鳥田まで
 4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)
 千葉県木更津市大字中鳥田から千葉県木更津市大字大久保まで
 3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道16号 (京葉道路)	千葉県千葉市	平面接続	本線
一般国道297号	千葉県市原市	立体接続	市原インターチェンジ
県道千葉鴨川線	千葉県市原市	立体接続	姉崎袖ヶ浦 インターチェンジ
県道君津平川線	千葉県 木更津市	立体接続	木更津北 インターチェンジ
一般国道409号 (東京湾横断・木 更津東金道路) 一般国道468号 (東京湾横断・木 更津東金道路)	千葉県 木更津市	立体接続	木更津ジャンクション
東関東自動車道 千葉富津線	千葉県 木更津市	立体接続	木更津南ジャンクション
一般国道127号 一般国道16号	千葉県 木更津市	平面接続	木更津南 インターチェンジ

(4)工事予算

2,876億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 59 年 2 月 2 日

工事の完成予定年月日 平成 19 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 千葉富津線

(千葉県木更津市大字矢那から千葉県富津市大字竹岡まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 千葉富津線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県木更津市大字矢那 から
 千葉県富津市大字竹岡 まで

(ロ) 延 長 21.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県木更津市 大字矢那 から 千葉県富津市 大字竹岡 まで	100	21.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
千葉県木更津市 大字矢那 から 千葉県富津市 大字竹岡 まで	2車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m 暫定路肩
	1.75×2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東関東自動車道 千葉富津線	千葉県木更津 市	立体接続	木更津南ジャンクション
主要地方道 君津鴨川線	千葉県君津市	立体接続	君津インターチェンジ
一般国道127号	千葉県富津市	立体接続	富津中央 インターチェンジ
県道竹岡インター線	千葉県富津市	立体接続	富津竹岡 インターチェンジ
一般国道127号 (富津館山道路)	千葉県富津市	平面接続	本線

(4)工事予算

1,091億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5年 12月 4日

工事の完成予定年月日 平成 19年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

常磐自動車道 (埼玉県三郷市鷹野から埼玉県三郷市番匠免まで)

東関東自動車道 水戸線(三郷JCT)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

常磐自動車道

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県三郷市鷹野 から
 埼玉県三郷市番匠免 まで

(ロ) 延 長 4.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県三郷市鷹野 から 埼玉県三郷市番匠免 まで	80	4.1	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
埼玉県三郷市鷹野 から 埼玉県三郷市番匠免 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道298号	埼玉県三郷市	立体接続	三郷南インターチェンジ (仮称)
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市	立体接続	三郷ジャンクション

(4)工事予算

945億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 1月 20日

工事の完成予定年月日 平成 17年 11月 30日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

45億円(うち、債務引受基準額 43億円)

(平成17年度下半期工事費 常磐自動車道及び東関東自動車道 94,753百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 水戸線

(埼玉県三郷市番匠免から千葉県松戸市三矢小台二丁目まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 埼玉県三郷市番匠免 から
 千葉県松戸市三矢小台二丁目 まで

(ロ) 延 長 9.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
埼玉県三郷市番匠免 から 千葉県松戸市三矢小台 二丁目 まで	80	9.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県三郷市番匠免 から 千葉県松戸市三矢小台 二丁目 まで	4 車線	4 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
掘割部分	-	-	2.50	0.50	3.00	
切土盛土部分	-	-	2.50	0.50	3.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	2.50 1.50	0.50 1.00	3.00 2.50	ランプ部

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (堀割部)
3.00メートル (橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道298号	埼玉県三郷市	立体接続	三郷第二 インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,652億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 12年 1月 12日

工事の完成予定年月日 平成 24年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 水戸線

(千葉県松戸市三矢小台二丁目から千葉県市川市高谷まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県松戸市三矢小台二丁目 から
 千葉県市川市高谷 まで

(ロ) 延 長 10.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県松戸市三矢小台 二丁目 から 千葉県市川市高谷 まで	80	10.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県松戸市三矢小台 二丁目 から 千葉県市川市高谷 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
掘割部分	-	-	2.50	0.50	3.00	
切土盛土部分	-	-	2.50	0.50	3.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	2.50 2.50	0.50 1.00	3.00 3.50	ランプ部

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道298号	千葉県松戸市	立体接続	松戸インターチェンジ (仮称)
一般国道298号	千葉縣市川市	立体接続	市川北インターチェンジ (仮称)
一般国道298号	千葉縣市川市	立体接続	市川南インターチェンジ (仮称)
一般国道14号 (京葉道路)	千葉縣市川市	立体接続	京葉ジャンクション (仮称)
一般国道298号	千葉縣市川市	立体接続	高谷インターチェンジ (仮称)
県道高速湾岸線 (首都高速)	千葉縣市川市	立体接続	高谷ジャンクション (仮称)

(4)工事予算

8,558億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日

工事の完成予定年月日 平成 26年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 水戸線

(千葉県市川市高谷から千葉県千葉市美浜区若葉2丁目まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県市川市高谷 から
千葉県千葉市美浜区若葉2丁目 まで

(ロ) 延 長 11.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県市川市高谷 から 千葉県千葉市 美浜区若葉2丁目 まで	80	11.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
千葉県市川市高谷 から 千葉県千葉市 美浜区若葉2丁目 まで	6 車線	6 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2 (1.25 × 2)	5.00 (2.50)	-	-	-	側帯幅員0.50m ()は海老名川橋

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)
 4.30～2.25メートル (二俣高架橋～西浦高架橋)
 2.25メートル (西浦高架橋～谷津高架橋)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道357号 県道高速湾岸線	千葉県市川市	立体接続	湾岸市川 インターチェンジ
一般国道357号	千葉県 習志野市	立体接続	湾岸習志野 インターチェンジ
一般国道357号	千葉県千葉市	立体接続	湾岸千葉 インターチェンジ

(4)工事予算

939 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成年月日 平成 元年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 水戸線

(千葉県千葉市美浜区若葉2丁目から千葉県成田市馬場字餅田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

千葉県千葉市美浜区若葉2丁目 から

千葉県成田市馬場字餅田 まで

(ロ) 延 長

33.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県千葉市美浜区 若葉2丁目 から 千葉県千葉市稲毛区 長沼原町 まで	80	7.1	
千葉県千葉市稲毛区 長沼原町 から 千葉県成田市馬場 字餅田 まで	120	26.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル (一部3.75メートル)

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
千葉県千葉市美浜区 若葉2丁目 から 千葉県千葉市稲毛区 長沼原町 まで	6車線	6車線	
千葉県千葉市稲毛区 長沼原町 から 千葉県成田市馬場 字餅田 まで	6車線	6車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.50m
	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

上段:設計速度80km/時

下段:設計速度120km/時

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

千葉県美浜区若葉2丁目から千葉県稲毛区長沼原町まで
 4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)
 千葉県稲毛区長沼原町から成田市馬場字餅田まで
 4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 14号 (京葉道路)	千葉県千葉市	立体接続	宮野木ジャンクション
一般国道 16号	千葉県千葉市	立体接続	千葉北インターチェンジ
県道千葉臼井 印西線	千葉県 四街道市	立体接続	四街道インターチェンジ
一般国道 51号 県道佐倉印西線	千葉県佐倉市	立体接続	佐倉インターチェンジ
県道富里 酒々井線	千葉県印旛郡 酒々井町	立体接続	酒々井インターチェンジ (仮称)
一般国道409号	千葉県富里市	立体接続	富里インターチェンジ
一般国道295号	千葉県成田市	立体接続	成田インターチェンジ

(4)工事予算 1,160 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43年 4月 1日

工事の完成予定年月日 平成 23年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 水戸線

(千葉県成田市馬場から茨城県潮来市延方まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県成田市馬場 から
茨城県潮来市延方 まで

(ロ) 延 長 29.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
及び 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県成田市馬場 から 千葉県佐原市多田 まで	120	20.8	
千葉県佐原市多田 から 茨城県潮来市延方 まで	100	8.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
千葉県成田市馬場 から 茨城県潮来市延方 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道468号 (首都圏中央連絡 自動車道)	千葉県香取郡 大栄町	立体接続	大栄ジャンクション (仮称)
一般国道51号	千葉県香取郡 大栄町	立体接続	大栄インターチェンジ
県道佐原山田線	千葉県佐原市	立体接続	佐原香取 インターチェンジ
県道水戸神栖線 町道13号線	茨城県潮来市	平面接続	潮来インターチェンジ

(4)工事予算

1,140億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成予定年月日 平成 23年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東関東自動車道 水戸線

(茨城県鹿島郡鉾田町大字飯名から茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東関東自動車道 水戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 茨城県鹿島郡銚田町大字飯名 から
茨城県東茨城郡茨城町大字小鶴 まで

(ロ) 延 長 18.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
茨城県鹿島郡銚田町 大字飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町 大字小鶴 まで	100	18.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
茨城県鹿島郡銚田町 大字飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町 大字小鶴 まで	2車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道小川鉾田線	茨城県鹿島郡 鉾田町	平面接続	鉾田インターチェンジ (仮称)
県道茨城鹿島線	茨城県東茨城 郡茨城町	立体接続	茨城南インターチェンジ (仮称)
北関東自動車道	茨城県東茨城 郡茨城町	立体接続	茨城ジャンクション (仮称)

(4)工事予算

682 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東関東自動車道 67,924百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(群馬県高崎市上滝町から群馬県伊勢崎市三和町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北関東自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 群馬県高崎市上滝町 から
 群馬県伊勢崎市三和町 まで

(ロ) 延 長 14.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
群馬県高崎市上滝町 から 群馬県伊勢崎市三和町 まで	100	14.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
群馬県高崎市上滝町 から 群馬県伊勢崎市三和町 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
関越自動車道 新潟線	群馬県高崎市	立体接続	高崎ジャンクション
県道前橋玉村線	群馬県前橋市	立体接続	前橋南インターチェンジ
県道前橋館林線	群馬県前橋市	立体接続	駒形インターチェンジ
一般国道17号	群馬県 伊勢崎市	立体接続	伊勢崎インターチェンジ

(4)工事予算

1,310億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5年 12月 4日

工事の完成年月日 平成 13年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(群馬県伊勢崎市三和町から群馬県太田市只上まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北関東自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 群馬県伊勢崎市三和町 から
 群馬県太田市只上 まで

(ロ) 延 長 16.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
群馬県伊勢崎市三和町 から 群馬県太田市只上 まで	100	16.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
群馬県伊勢崎市三和町 から 群馬県太田市只上 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般県道大原境線	群馬県太田市	立体接続	藪塚インターチェンジ (仮称)
一般国道122号	群馬県太田市	立体接続	太田インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

1,194億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 1月 20日

工事の完成予定年月日 平成 20年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(群馬県太田市只上から栃木県足利市菅田町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

北関東自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 群馬県太田市只上 から
 栃木県足利市菅田町 まで

(ロ) 延 長 9.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
群馬県太田市只上 から 栃木県足利市菅田町 まで	100	9.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
群馬県太田市只上 から 栃木県足利市菅田町 まで	4 車線	4 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

なし

(4)工事予算

643億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 4月 17日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(栃木県足利市菅田町から栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1.工事の内容

(1) 路線名

北関東自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 栃木県足利市菅田町 から
栃木県下都賀郡岩舟町大字小野寺 まで

(ロ)延 長 14.0 キロメートル

(3)工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
栃木県足利市菅田町 から 栃木県下都賀郡岩舟町 大字小野寺 まで	100	14.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
栃木県足利市菅田町 から 栃木県下都賀郡岩舟町 まで 大字小野寺	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道293号	栃木県足利市	立体接続	足利インターチェンジ (仮称)
県道佐野田沼線	栃木県佐野市	立体接続	田沼インターチェンジ (仮称)
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県下都賀 郡岩舟町	立体接続	岩舟ジャンクション (仮称)

(4)工事予算

884億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 1月 20日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(栃木県下都賀郡都賀町大字木から栃木県河内郡上三川町大字磯岡まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
栃木県下都賀郡都賀町 大字木 から 栃木県河内郡上三川町 大字磯岡 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県下都賀 郡都賀町	立体接続	栃木都賀ジャンクション
県道宇都宮亀和 田栃木線	栃木県下都賀 郡都賀町	立体接続	都賀インターチェンジ
県道壬生 インター線	栃木県下都賀 郡壬生町	立体接続	壬生インターチェンジ
一般国道4号	栃木県河内郡 上三川町	立体接続	宇都宮上三川 インターチェンジ

(4)工事予算

1,162億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5年 12月 4日

工事の完成年月日 平成 13年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(栃木県河内郡上三川町大字磯岡から栃木県真岡市長田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
栃木県河内郡上三川町 大字磯岡 から 栃木県真岡市長田 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道408号	栃木県真岡市	立体接続	真岡インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

410億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 1月 20日

工事の完成予定年月日 平成 20年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(栃木県真岡市長田 から茨城県西茨城郡岩瀬町大字長方まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
栃木県真岡市長田 から 茨城県西茨城郡岩瀬町 大字長方 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

な し

(4)工事予算

634億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 4月 17日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(茨城県西茨城郡岩瀬町大字長方から茨城県西茨城郡友部町大字平町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北関東自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 茨城県西茨城郡岩瀬町大字長方 から
茨城県西茨城郡友部町大字平町 まで

(ロ) 延 長 18.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
茨城県西茨城郡岩瀬町 大字長方 から 茨城県西茨城郡友部町 大字平町 まで	100	18.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
茨城県西茨城郡岩瀬町 大字長方 から 茨城県西茨城郡友部町 大字平町 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道50号	茨城県西茨城 郡岩瀬町	立体接続	岩瀬インターチェンジ (仮称)
県道土浦笠間線	茨城県笠間市	立体接続	笠間インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

867億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 1月 20日

工事の完成予定年月日 平成 20年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北関東自動車道

(茨城県西茨城郡友部町大字平町から茨城県水戸市元石川町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北関東自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 茨城県西茨城郡友部町大字平町 から
茨城県水戸市元石川町 まで

(ロ) 延 長 22.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
茨城県西茨城郡友部町 大字平町 から 茨城県水戸市元石川町 まで	100	22.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
茨城県西茨城郡友部町 大字平町 から 茨城県水戸市元石川町 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道355号	茨城県西茨城 郡友部町	立体接続	友部インターチェンジ
常磐自動車道	茨城県西茨城 郡友部町	立体接続	友部ジャンクション
県道玉里水戸線	茨城県東茨城 郡茨城町	立体接続	茨城町西 インターチェンジ
東関東自動車道 水戸線	茨城県東茨城 郡茨城町	立体接続	茨城ジャンクション (仮称)
一般国道6号	茨城県東茨城 郡茨城町	立体接続	茨城町東 インターチェンジ
一般国道6号	茨城県水戸市	立体接続	水戸南インターチェンジ
一般国道6号 (東水戸道路)	茨城県水戸市	平面接続	本線

(4)工事予算

1,054億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5年 12月 4日

工事の完成年月日 平成 13年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北関東自動車道 71,552百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道 長野線

(長野県南安曇郡豊科町大字高家から長野県千曲市大字屋代まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道 長野線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

長野県南安曇郡豊科町大字高家 から

長野県千曲市大字屋代 まで

(ロ) 延 長

42.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長野県南安曇郡豊科町 大字高家 から 長野県千曲市大字屋代 まで	80	42.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
長野県南安曇郡豊科町 大字高家 から 長野県千曲市大字屋代 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員0.50m
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅員0.50m

上段:長野県南安曇郡豊科町大字高家 から長野県東筑摩郡麻績村麻まで
下段:長野県東筑摩郡麻績村麻から長野県千曲市大字屋代まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道403号	長野県東筑摩 郡麻績村	立体接続	麻績インターチェンジ
一般国道18号	長野県千曲市	立体接続	更埴インターチェンジ
関越自動車道 上越線	長野県千曲市	立体接続	更埴ジャンクション

(4)工事予算

2,500億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 11月 15日

工事の完成年月日 平成 5年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(新潟県新潟市江口から新潟県新潟市長潟まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県新潟市江口 から
 新潟県新潟市長潟 まで

(ロ) 延 長 6.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県新潟市江口 から 新潟県新潟市長潟 まで	100	6.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
新潟県新潟市江口 から 新潟県新潟市長潟 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道新潟亀田 内野線	新潟県新潟市	立体接続	新潟空港 インターチェンジ

(4)工事予算

529 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 5 月 15 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(新潟県新潟市長潟から新潟県新潟市立仏まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県新潟市長潟 から
 新潟県新潟市立仏 まで

(ロ) 延 長 6.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県新潟市長潟 から 新潟県新潟市立仏 まで	80	6.7	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
新潟県新潟市長潟 から 新潟県新潟市立仏 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
果北横断自動車 道 いわき新潟線	新潟県新潟市	立体接続	新潟中央ジャンクション
一般国道49号 町道480号線	新潟県新潟市	立体接続	新潟亀田 インターチェンジ

(4)工事予算

652億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 62年 3月 24日

工事の完成年月日 平成 7年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(新潟県新潟市山田から新潟県長岡市上除町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
新潟県新潟市 から 新潟県長岡市上除町 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

下段: 起点から新潟料金所まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道116号	新潟県新潟市	立体接続	新潟西インターチェンジ
一般国道460号	新潟県西蒲原 郡巻町	立体接続	巻潟東インターチェンジ
一般国道289号	新潟県三条市	立体接続	三条燕インターチェンジ
一般国道8号	新潟県長岡市	立体接続	中之島見附 インターチェンジ
関越自動車道 新潟線	新潟県長岡市	立体接続	長岡ジャンクション
一般国道8号 県道長岡インター線	新潟県長岡市	立体接続	長岡インターチェンジ

(4)工事予算

1,110億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 44年 4月 1日

工事の完成年月日 平成 7年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(新潟県長岡市上除町から新潟県上越市中屋敷まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県長岡市上除町 から
 新潟県上越市中屋敷 まで

(ロ) 延 長 70.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県長岡市上除町 から 新潟県柏崎市下田尻 まで	100	24.5	取付部 0.3km含む
新潟県柏崎市下田尻 から 新潟県上越市柿崎区 まで	80	23.3	
新潟県上越市柿崎区 から 新潟県上越市富岡 まで	100	17.8	
新潟県上越市富岡 から 新潟県上越市中屋敷 まで	80	4.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
新潟県長岡市上除町 から 新潟県上越市中屋敷 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.5メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道柏崎高浜 堀之内線	新潟県柏崎市	立体接続	西山インターチェンジ
一般国道252号	新潟県柏崎市	立体接続	柏崎インターチェンジ
一般国道8号	新潟県柏崎市	立体接続	米山インターチェンジ
一般国道8号	新潟県上越市	立体接続	柿崎インターチェンジ
一般国道18号	新潟県上越市	立体接続	上越インターチェンジ

(4)工事予算

2,440億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 7月 12日

工事の完成年月日 昭和 59年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(新潟県上越市中屋敷から新潟県糸魚川市大字上刈まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
新潟県上越市中屋敷 から 新潟県糸魚川市 大字上刈 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
関越自動車道 上越線	新潟県上越市	立体接続	上越ジャンクション
県道名立谷浜 インター線	新潟県上越市	立体接続	名立谷浜 インターチェンジ
県道能生 インター線	新潟県 糸魚川市	立体接続	能生インターチェンジ
一般国道148号	新潟県 糸魚川市	立体接続	糸魚川インターチェンジ

(4)工事予算

2,726億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 8月 3日

工事の完成年月日 平成 13年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(新潟県糸魚川市大字上刈から富山県下新川郡朝日町小更まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 新潟県糸魚川市大字上刈 から
 富山県下新川郡朝日町小更 まで

(ロ) 延 長 27.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
新潟県糸魚川市 大字上刈 から 富山県下新川郡 朝日町小更 まで	80	27.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
新潟県糸魚川市 大字上刈 から 富山県下新川郡 朝日町小更 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員0.50m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅員0.50m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道8号	新潟県 糸魚川市	立体接続	親不知インターチェンジ

(4)工事予算

2,309億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 11月 15日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道

(富山県下新川郡朝日町小更から富山県下新川郡朝日町月山まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 富山県下新川郡朝日町小更 から
 富山県下新川郡朝日町月山 まで

(ロ) 延 長 2.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
富山県下新川郡 朝日町小更 から 富山県下新川郡 朝日町月山 まで	100	2.1	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
富山県下新川郡 朝日町小更 から 富山県下新川郡 朝日町月山 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	-	-	-	-

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

なし

(4)工事予算

25億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 6月 1日

工事の完成年月日 昭和 59年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 3,072百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

成田国際空港線

(千葉県成田市小菅から千葉県成田市取香まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 20トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
千葉県成田市小菅 から 千葉県成田市取香 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
新東京国際空港	千葉県成田市	平面接続	新空港インターチェンジ

(4)工事予算

26億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 44年 4月 1日

工事の完成年月日 昭和 47年 7月 14日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 百万円(うち、債務引受基準額 - 百万円)

(平成17年度下半期工事費 成田国際空港線 - 百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東北縦貫自動車道 弘前線

(栃木県鹿沼市茂呂から栃木県宇都宮市徳次郎町まで)(改築)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東北縦貫自動車道 弘前線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

栃木県鹿沼市茂呂 から

栃木県宇都宮市徳次郎町 まで

(ロ) 延 長 12.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
栃木県鹿沼市茂呂 から 栃木県宇都宮市 徳次郎町 まで	100	12.0	

(ハ) 設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(ニ) 車線の幅員
3.50メートル (左側車線)
3.75メートル (中央車線)
3.50メートル (右側車線)

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
栃木県鹿沼市茂呂 から 栃木県宇都宮市 徳次郎町 まで	2 車線	2 車線	4 車線を 6 車線に 改築

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
切土盛土部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
トンネル部分	-	-	-	-	-	-
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00	-	-	-	側帯幅員0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

なし

(4)工事予算

338億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5年 1月 20日

工事の完成年月日 平成 11年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 東北縦貫自動車道 1,070百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道1号(横浜新道)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道1号
(有料道路名 : 横浜新道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 から
神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 まで

(ロ) 延 長

8.5 キロメートル (8.7キロメートル:ただし、連結路の区間を含む)

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 有料道路事業

(ロ) 道路の区分

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台から神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町まで 第1種第3級(道路構造令)

神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町から神奈川県横浜市戸塚区上矢部町まで 第1種第3級(道路構造令)
第1種平地部

別紙 1

(八)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台から 神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町まで	80	2.3	
神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町から 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町まで	80	6.2	

(二)設計自動車荷重 20トン及び25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員

3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台から 神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町まで	6車線	6車線	
神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町から 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町まで	4車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台から神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘削)部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

別紙 1

(ト)路肩の標準幅員

神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町から神奈川県横浜市戸塚区上矢部町まで
(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				
	0.75 × 2	1.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
	0.75 × 2	1.50				
橋梁高架部分 (長大橋)						

(チ)中央帯の標準幅員

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台から神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町まで

3.00 メートル

神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町から神奈川県横浜市戸塚区上矢部町まで

3.00 及び 1.60 メートル

別紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道466号 (第三京浜道路)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 峰沢町及び岡沢町	立体接続	本線(保土ヶ谷)
市道高速1号線(首都高速道路 神奈川2号三ツ沢線)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 岡沢町	立体接続	本線(保土ヶ谷)
一般国道1号	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 常盤台	立体接続	常盤台インターチェンジ
市道常盤台和田町線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 常盤台	立体接続	常盤台インターチェンジ
市道三ツ沢第203号線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 峰岡町	平面接続	峰岡インターチェンジ
市道天王町第46号線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 星川町	平面接続	星川インターチェンジ
市道川島岩間線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 藤塚町及び仏向町	立体接続	藤塚インターチェンジ
市道環状2号線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 今井町	立体接続	今井インターチェンジ
市道今井第308号線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 今井町	平面接続	今井インターチェンジ
市道今井第235号線	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 今井町	平面接続	今井インターチェンジ
市道今井第322号線	神奈川県横浜戸塚区 川上町	立体接続	川上インターチェンジ
市道品濃第262号線	神奈川県横浜戸塚区 川上町	立体接続	川上インターチェンジ
市道品濃第261号線	神奈川県横浜戸塚区 川上町	立体接続	川上インターチェンジ
市道東戸塚西線	神奈川県横浜戸塚区 川上町	立体接続	川上インターチェンジ

別 紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道瀬谷柏尾線	神奈川県横浜市戸塚区 上矢部町	平面接続	上矢部インターチェンジ
一般国道1号	神奈川県横浜市戸塚区 上矢部町	平面接続	本線

(4) 工事予算

1,334 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

昭和55年5月25日

工事の完成(予定)年月日

- イ 昭和60年3月31日 (三ツ沢ジャンクションの一部)
- ロ 平成4年2月4日 (三ツ沢ジャンクションの一部)
- ハ 平成5年2月28日 (三ツ沢ジャンクションの一部)
- ニ 平成9年3月26日 (拡幅事業の一部)
- ホ 平成11年2月24日 (川上ジャンクションの一部)
- ヘ 平成11年12月10日 (今井インターチェンジの一部)
- ト 平成13年9月28日 (今井・川上インターチェンジの一部)
- チ 平成20年3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道1号(横浜新道) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道6号(東水戸道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道6号

(有料道路名 : 東水戸道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 茨城県水戸市元石川町字千束 から

茨城県ひたちなか市部田野 まで

(ロ) 延 長 10.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
茨城県水戸市元石川町 字千束 から 茨城県ひたちなか市 部田野 まで	100	10.2	

別紙 1

(ニ)設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
茨城県水戸市元石川町 字千束 から 茨城県ひたちなか市 部田野 まで	4車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

4.50メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
北関東自動車道	茨城県水戸市 元石川町字千束	平面接続	本線
一般国道6号	茨城県水戸市 元石川町字千束	立体接続	水戸南インターチェンジ
一般国道51号	茨城県水戸市 大串町字小関	立体接続	水戸大洗インターチェンジ
一般国道245号	茨城県ひたちなか市 部田野字中西原	立体接続	ひたちなかインターチェンジ
県道常陸那珂港南線 (常陸那珂有料道路)	茨城県ひたちなか市 部田野字山崎	平面接続	本線

(4)工事予算

102億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

- イ 平成7年5月8日 (水戸南IC～水戸大洗IC)
- ロ 平成9年12月17日 (水戸大洗IC～ひたちなかIC)
- ハ 平成11年12月3日 (水戸大洗IC～ひたちなかIC)

工事の完成(予定)年月日

- イ 平成8年12月1日 (水戸南IC～水戸大洗IC)
- ロ 平成11年7月21日 (水戸大洗IC～ひたちなかIC)
- ハ 平成12年3月15日 (水戸大洗IC～ひたちなかIC)
- ニ 平成20年3月31日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道6号(東水戸道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道14号及び一般国道16号(京葉道路)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道14号及び16号

(有料道路名 : 京葉道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 東京都江戸川区一之江町 から
千葉県千葉市中央区浜野町 まで

(ロ) 延長 36.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 有料道路事業

(ロ) 道路の区分

設計区間	道路の区分	延長 (キロメートル)	摘要
東京都江戸川区一之江町 千葉県市川市(江戸川大橋東詰) から まで	第1種平地部	4.4	
千葉県船橋市海神町 千葉県船橋市海神町 から まで			
千葉県市川市(江戸川大橋東詰) 千葉県船橋市海神町 から まで	高速自動車国道等 の構造基準3級	4.5	

別紙 1

設計区間	道路の区分	延長 (キロメートル)	摘要
千葉県船橋市海神町 千葉県千葉市稲毛区園生町	から まで 第1種第3級 (道路構造令)	15.7	
千葉県千葉市稲毛区園生町 千葉県千葉市若葉区殿台町	から まで 第1種第3級 (道路構造令)	1.8	
千葉県千葉市若葉区殿台町 千葉県千葉市中央区浜野町	から まで 第1種第3級 (道路構造令)	10.4	

(八)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
東京都江戸川区一之江町 千葉県市川市(江戸川大橋東詰)	から まで 80	4.4	
千葉県船橋市海神町 千葉県船橋市海神町	から まで		
千葉県市川市(江戸川大橋東詰) 千葉県船橋市海神町	から まで 80	4.5	
千葉県船橋市海神町 千葉県千葉市稲毛区園生町	から まで 80	15.7	
千葉県千葉市稲毛区園生町 千葉県千葉市若葉区殿台町	から まで 80	1.8	
千葉県千葉市若葉区殿台町 千葉県千葉市中央区浜野町	から まで 80	10.4	

別紙 1

(二)設計自動車荷重

20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

(ホ)車線の幅員

3.50メートル

(ハ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
東京都江戸川区一之江町	から	4～8車線	4～8車線	
千葉県市川市(江戸川大橋東詰)	まで			
千葉県船橋市海神町	から	6車線	6車線	
千葉県船橋市海神町	まで			
千葉県市川市(江戸川大橋東詰)	から	4車線	4車線	
千葉県船橋市海神町	まで			
千葉県千葉市稲毛区園生町	から	4車線	4車線	
千葉県千葉市若葉区殿台町	まで			
千葉県千葉市若葉区殿台町	から	4車線	4車線	
千葉県千葉市中央区浜野町	まで			

別紙 1

(ト) 路肩の標準幅員

イ 東京都江戸川区一之江町から千葉縣市川市(江戸川大橋東詰)まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	0.50 × 2	1.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	0.50 × 2	1.00				
橋梁高架部分 (長大橋)						

ロ 千葉県船橋市海神町から千葉県船橋市海神町まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	0.50 × 2	1.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	0.50 × 2	1.00				
橋梁高架部分 (長大橋)						

ハ 千葉縣市川市(江戸川大橋東詰)から千葉県船橋市海神町まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00 × 2	6.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				

別紙 1

ニ 千葉県船橋市海神町から千葉県千葉市稲毛区園生町まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				
	1.25 × 2	2.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
	1.25 × 2	2.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00				
	1.25 × 2	2.50				

ホ 千葉県千葉市稲毛区園生町から千葉県千葉市若葉区殿台町まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00				

ヘ 千葉県千葉市若葉区殿台町から千葉県千葉市中央区浜野町まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	0.75 × 2	1.50				
	1.75 × 2	3.50				
	2.50 × 2	5.00				

別紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

(単位:メートル)

設計区間	中央帯の幅員	摘要
東京都江戸川区一之江町 千葉県市川市(江戸川大橋東詰)	から まで 5.50	
千葉県船橋市海神町 千葉県船橋市海神町	から まで 5.50	
千葉県市川市(江戸川大橋東詰) 千葉県船橋市海神町	から まで 3.00	
千葉県船橋市海神町 千葉県千葉市稲毛区園生町	から まで 2.25, 3.00	
千葉県千葉市稲毛区園生町 千葉県千葉市若葉区殿台町	から まで 3.00	
千葉県千葉市若葉区殿台町 千葉県千葉市中央区浜野町	から まで 3.00	

別紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道14号	東京都江戸川区一之江町	平面接続	本線
区道0670号線	東京都江戸川区新堀	平面接続	本線
区道0050号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
区道0070号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
区道1120号線	東京都江戸川区新堀	平面接続	本線
区道1140号線	東京都江戸川区新堀	平面接続	本線
区道0080号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
幹線区道A0380号線	東京都江戸川区新堀	平面接続	本線
区道1180号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
区道0290号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
区道1230号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
幹線区道A0390号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
区道0390号線	東京都江戸川区春江町	平面接続	本線
区道0400号線	東京都江戸川区瑞江	平面接続	本線
幹線区道A0310号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
都道307号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0020号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線

別紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
区道0870号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0880号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0030号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0040号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0900号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
都道首都高速7号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0050号線	東京都江戸川区谷河内町	平面接続	本線
区道0910号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0060号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0920号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0940号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0070号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道1070号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0080号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道1130号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0090号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線

別紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
区道1160号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0100号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0980号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0110号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0990号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
幹線区道A0420号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道1000号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0220号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道1010号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道1020号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
区道0840号線	東京都江戸川区篠崎町	平面接続	本線
都道451号線	東京都江戸川区篠崎町	立体接続	本線
東関東自動車道 水戸線	千葉県市川市稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション(仮称)
県道浦安鎌ヶ谷線	千葉県市川市稲荷木	立体接続	市川インターチェンジ
市道0214号線	千葉県市川市田尻	立体接続	市川インターチェンジ
県道船橋行徳線	千葉県市川市二俣	立体接続	原木インターチェンジ
市道0595号線	千葉県船橋市海神	平面接続	船橋インターチェンジ

別紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
市道05118号線	千葉県船橋市海神	平面接続	船橋インターチェンジ
市道海神町線	千葉県船橋市海神	平面接続	船橋インターチェンジ
市道05122号線	千葉県船橋市海神	平面接続	船橋インターチェンジ
市道05105号線	千葉県船橋市海神	平面接続	船橋インターチェンジ
一般国道14号	千葉県船橋市海神	平面接続	船橋インターチェンジ
一般国道296号	千葉県船橋市宮本	立体接続	花輪インターチェンジ
県道船橋我孫子線	千葉県船橋市宮本及び 習志野市谷津の境	立体接続	花輪インターチェンジ
一般国道14号	千葉県習志野市鷺沼及び 千葉市花見川区幕張本郷の境	立体接続	幕張インターチェンジ
県道千葉鎌ヶ谷松戸線	千葉県千葉市花見川区武石町	立体接続	武石インターチェンジ
東関東自動車道 水戸線	千葉県千葉市花見川区畑町及び 千葉市稲毛区宮野木町	立体接続	宮野木ジャンクション
一般国道16号	千葉県千葉市稲毛区園生町	立体接続	穴川インターチェンジ
一般国道16号	千葉県千葉市稲毛区萩台町	立体接続	穴川インターチェンジ
一般国道16号	千葉県千葉市若葉区殿台町	立体接続	穴川インターチェンジ
一般国道16号	千葉県千葉市若葉区貝塚町	立体接続	貝塚インターチェンジ
一般国道126号 (千葉東金道路)	千葉県千葉市若葉区大宮町	立体接続	千葉東ジャンクション
一般国道16号	千葉県千葉市中央区星久喜町	立体接続	松ヶ丘インターチェンジ
一般国道16号	千葉県千葉市中央区星久喜町	立体接続	松ヶ丘インターチェンジ

別紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道16号線	千葉県千葉市中央区蘇我町	立体接続	蘇我インターチェンジ
一般国道16号線	千葉県千葉市中央区生実町	立体接続	蘇我インターチェンジ
東関東自動車道 千葉富津線	千葉県千葉市中央区浜野町	平面接続	本線

(4) 工事予算

1,928 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

昭和63年3月25日

工事の完成(予定)年月日

イ 平成19年3月31日 (蘇我インターチェンジ改築のみ)

ロ 平成26年3月31日 (蘇我インターチェンジ改築を除く)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道14号及び一般国道16号(京葉道路) 4,307 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道16号及び一般国道468号(横浜横須賀道路)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道16号及び一般国道468号

(有料道路名：横浜横須賀道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

一般国道16号 (佐原～馬堀海岸)	神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目 神奈川県横須賀市佐原一丁目	から まで
一般国道16号 (改築区間)	神奈川県横須賀市佐原一丁目 神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町	から まで
一般国道16号 (金沢支線)	神奈川県横浜市金沢区並木三丁目 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町	から まで
一般国道468号 (戸塚支線)	神奈川県横浜市金沢区釜利谷町 神奈川県横浜市戸塚区原宿町	から まで

別紙 1

(口)延 長

一般国道16号 (佐原～馬堀海岸)	4.3	キロメートル
一般国道16号 (改築区間)	28.5	キロメートル
一般国道16号 (金沢支線)	4.2	キロメートル
一般国道468号 (戸塚支線)	8.7	キロメートル

(3)工事方法

(イ)事業方式

一般国道16号 (佐原～馬堀海岸)	有料道路事業
一般国道16号 (改築区間)	有料道路事業
一般国道16号 (金沢支線)	有料道路事業
一般国道468号 (戸塚支線)	公共事業・有料道路事業 合併施行方式

別 紙 1

(3) 工事方法

(口) 道路の区分

一般国道16号	(佐原～馬堀海岸)	第1種第3級(道路構造令)
一般国道16号	(改築区間)	第1種第3級(道路構造令)
一般国道16号	(金沢支線)	第1種第3級(道路構造令)
一般国道468号	(戸塚支線)	第1種第3級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目から 神奈川県横須賀市佐原一丁目まで	80	4.3	
神奈川県横須賀市佐原一丁目から 神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町まで	80	28.5	
神奈川県横浜市金沢区並木三丁目から 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町まで	80	4.2	
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から 神奈川県横浜市戸塚区原宿まで	80	8.7	

(二) 設計自動車荷重

神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目から神奈川県横須賀市佐原町一丁目まで	25トン(B活荷重)
神奈川県横須賀市佐原一丁目から神奈川県逗子市池子四丁目まで	20トン及び43トン
神奈川県逗子市池子四丁目から神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町まで	20トン
神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町から神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町まで	20トン及び43トン
神奈川県横浜市金沢区並木三丁目から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町まで	20トン及び43トン
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から神奈川県横浜市戸塚区原宿町まで	25トン(B活荷重)

別紙 1

(ホ)車線の幅員

一般国道16号	(佐原～馬堀海岸)	3.50	メートル
一般国道16号	(改築区間)	3.50	メートル
一般国道16号	(金沢支線)	3.50	メートル
一般国道468号	(戸塚支線)	3.50	メートル

(ハ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
神奈川県横須賀市馬堀海岸四丁目	から	4車線 (暫定2車)	4車線	(佐原～馬堀海岸)
神奈川県横須賀市佐原一丁目	まで			
神奈川県横須賀市佐原一丁目	から	4車線	4車線	(改築区間)
神奈川県逗子市池子四丁目	まで			
神奈川県逗子市池子四丁目	から	4車線	4車線	(改築区間)
神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町	まで			
神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町	から	6車線	6車線	(改築区間)
神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町	まで			
神奈川県横浜市金沢区並木三丁目	から	6車線	6車線	(金沢支線)
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町	まで			
神奈川県横浜市金沢区釜利谷町	から	6車線	6車線	(戸塚支線)
神奈川県横浜市戸塚区原宿	まで			

(ト)路肩の標準幅員

佐原～馬堀海岸

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

別紙 1

改築区間 (神奈川県横須賀市佐原一丁目～神奈川県逗子市池子四丁目まで)

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

改築区間 (神奈川県逗子市池子四丁目～神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町)

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

改築区間 (神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町～神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町)

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.75 × 2	5.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.75 × 2	5.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75 × 2	5.50				

別紙 1

金沢支線 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

戸塚支線 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

(チ)中央帯の標準幅員

一般国道16号
(佐原～馬堀海岸) 3.00～3.50メートル

一般国道16号
(改築区間) 3.00メートル

一般国道16号
(金沢支線) 3.00メートル

一般国道468号
(戸塚支線) 3.00～5.00メートル

別紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

佐原～馬堀海岸，改築区間

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道16号	神奈川県横須賀市 馬堀海岸四丁目	平面接続	馬堀海岸インターチェンジ (仮称)
県道浦賀港線	神奈川県横須賀市 浦賀町一丁目	立体接続	馬堀インターチェンジ (仮称)
県道横須賀葉山線	神奈川県横須賀市 佐原一丁目	立体接続	佐原インターチェンジ
市道6851号	神奈川県横須賀市 衣笠町	立体接続	衣笠インターチェンジ
県道横須賀三崎線 (三浦縦貫道路)	神奈川県横須賀市 衣笠町	立体接続	衣笠インターチェンジ
市道6836号	神奈川県横須賀市 山中町	立体接続	横須賀インターチェンジ
県道本町山中線 (本町山中有料道路)	神奈川県横須賀市 山中町	立体接続	横須賀インターチェンジ
横須賀流通業務拠点 幹線道路	神奈川県横須賀市 山中町	立体接続	横須賀インターチェンジ
県道横須賀逗子線	神奈川県逗子市 沼間三丁目	立体接続	逗子インターチェンジ
一般自動車道逗葉新道	神奈川県逗子市 沼間三丁目	立体接続	逗子インターチェンジ
県道原宿六ツ浦線	神奈川県横浜市金沢区 朝比奈町	立体接続	朝比奈インターチェンジ
市道日野第228号線	神奈川県横浜市港南区 港南台七丁目	立体接続	港南台インターチェンジ
県道横浜鎌倉線	神奈川県横浜市港南区 日野町	立体接続	日野インターチェンジ
市道柏尾第286号線	神奈川県横浜市南区 別所五丁目	立体接続	別所インターチェンジ
一般国道1号	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 狩場町	立体接続	狩場インターチェンジ

別紙 1

佐原～馬堀海岸，改築区間

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
市道高速2号線 (首都高速道路神奈川3号狩場線)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 狩場町	立体接続	狩場インターチェンジ
一般国道16号 (横浜新道)	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 狩場町	平面接続	新保土ヶ谷インターチェンジ

金沢支線

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
市道長浜第56号線	神奈川県横浜市金沢区 並木三丁目	立体接続	並木インターチェンジ
市道長浜第99号線	神奈川県横浜市金沢区 並木三丁目	立体接続	堀口能見台インターチェンジ
県道高速湾岸線 (首都高速道路湾岸線)	神奈川県横浜市金沢区 並木三丁目	平面接続	釜利谷ジャンクション
市道堀口第531号線	神奈川県横浜市金沢区 堀口	立体接続	本線

戸塚支線

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
都市計画道路 上郷公田線	神奈川県横浜市 栄区公田町	立体接続	公田インターチェンジ (仮称)
都市計画道路 横浜藤沢線	神奈川県横浜市 栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション (仮称)
一般国道1号	神奈川県横浜市 戸塚区原宿町	立体接続	戸塚インターチェンジ (仮称)

(4) 工事予算

4,350 億円

一般国道16号	(佐原～馬堀海岸線)	890	億円
一般国道16号	(改築区間)	116	億円
一般国道16号	(金沢支線)	824	億円
一般国道468号	(戸塚支線)	2,520	億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

一般国道16号	(佐原～馬堀海岸)	平成7年4月13日
一般国道16号	(改築区間)	平成4年8月18日
一般国道16号	(金沢支線)	昭和60年3月29日
一般国道468号	(戸塚支線)	平成13年3月10日

別紙 1

工事の完成(予定)年月日

一般国道16号
(佐原～馬堀海岸) 平成20年3月31日

一般国道16号
(改築区間) イ 平成7年4月9日 (横須賀PA上り線)

ロ 平成9年3月26日 (補助車線)

ハ 平成10年3月25日 (横須賀PA下り線)

ニ 平成14年6月8日

一般国道16号
(金沢支線) イ 平成3年3月25日 (暫定2車線)

ロ 平成4年10月3日 (金沢自然公園連絡路)

ハ 平成9年3月26日 (暫定4車線及び堀口能見台インターチェンジ)

ニ 平成20年3月31日

一般国道468号
(戸塚支線) 平成20年3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額) - 億円

(平成17年度下半期工事費 一般国道16号及び一般国道468号(横浜横須賀道路) 3,581 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路))に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道45号

(有料道路名 : 三陸縦貫自動車道(仙塩道路))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮城県仙台市宮城野区中野 から
 宮城県宮城郡利府町春日 まで

(ロ) 延 長 7.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮城県仙台市 宮城野区中野 から 宮城県宮城郡 利府町春日 まで	100	7.8	

別 紙 1

(二)設計自動車荷重

20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ハ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
宮城県仙台市 宮城野区中野 宮城県宮城郡 利府町春日	から 2車線 まで	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道6号 (仙台東部道路)	宮城県仙台市 宮城野区中野	平面接続	本線
一般国道45号 (仙台東部道路)	宮城県仙台市 宮城野区中野	立体接続	仙台港北 インターチェンジ
一般国道47号 (仙台北部道路)	宮城県宮城郡 利府町加瀬	立体接続	利府ジャンクション
県道塩釜吉岡線	宮城県宮城郡 利府町加瀬	立体接続	利府塩釜 インターチェンジ
県道仙台松島線	宮城県宮城郡 利府町春日	立体接続	利府中インターチェンジ
県道仙台松島線 (仙台松島道路)	宮城県宮城郡 利府町春日	平面接続	本線

(4)工事予算

70 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

イ 平成 7年 5月 1日

工事の完成(予定)年月日

イ 平成 9年 3月 27日 (仙台港北～利府中IC)

ロ 平成 13年 5月 24日 (利府塩釜IC)

ハ 平成 24年 3月 31日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道45号(三陸縦貫自動車道(仙塩道路)) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道47号(仙台北部道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道47号

(有料道路名 : 仙台北部道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮城県宮城郡利府町加瀬 から
 宮城県宮城郡利府町沢乙 まで

(ロ) 延 長 5.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
宮城県宮城郡 利府町加瀬 から 宮城県宮城郡 利府町沢乙 まで	100	5.2	

別紙 1

(二)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ハ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮城県宮城郡 利府町加瀬 から 宮城県宮城郡 利府町沢乙 まで	2車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	

(チ)中央帯の標準幅員

—————

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道45号 (三陸縦貫自動車道)	宮城県宮城郡 利府町加瀬	立体接続	利府ジャンクション
県道塩竈吉岡線	宮城県宮城郡 利府町沢乙	立体接続	利府しらかし台 インターチェンジ
一般国道47号	宮城県宮城郡 利府町沢乙	平面接続	本線

(4)工事予算

84 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

イ 平成13年 1月18日 (利府JCT~利府しらかし台IC)

工事の完成(予定)年月日

イ 平成14年 5月17日 (利府JCT~利府しらかし台IC)

ロ 平成21年 3月31日 (利府JCT付加車線)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道47号(仙台北部道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道126号(千葉東金道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道126号

(有料道路名 : 千葉東金道路(二期))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県山武郡横芝町遠山 から

千葉県東金市山田 まで

(ロ) 延長 16.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 有料道路事業

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
千葉県山武郡横芝町遠山 から	100	16.1	
千葉県東金市山田 まで			

別紙 1

(ニ)設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
千葉県山武郡横芝町遠山	から	4車線	4車線	
千葉県東金市山田	まで			

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

4.50メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道成田松尾線	千葉県山武郡横芝町	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
一般国道126号 (銚子連絡道路)	千葉県山武郡横芝町	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
県道成東酒々井線	千葉県山武郡山武町	立体接続	山武成東インターチェンジ
東金市道5146号線	千葉県東金市小野	立体接続	東金インターチェンジ
一般国道468号 (東京湾横断・木更津東金道路)	千葉県東金市丹尾	平面接続	東金インターチェンジ

(4)工事予算

1,354 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成2年10月1日

工事の完成(予定)年月日

平成18年3月31日 (松尾横芝IC改良)

平成25年3月31日 (松尾横芝IC改良を除く)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道126号(千葉東金道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道126号(千葉東金道路)(松尾横芝IC改良)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道126号

(有料道路名 : 千葉東金道路(二期))

(2) 工事の区間

千葉県山武郡松尾町谷津 から

千葉県山武郡松尾町谷津 まで

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 有料道路事業

(ロ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の路線名	備考
松尾横芝インターチェンジ	千葉県山武郡横芝町	一般国道126号(銚子連絡道路)	立体接続
松尾横芝インターチェンジ	千葉県山武郡横芝町	県道成田松尾線	立体接続

(4) 工事予算

2 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 10 月 1 日

工事の完成(予定)年月日 平成 18 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

2 億円(うち、債務引受基準額 2 億円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道127号(富津館山道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道127号

(有料道路名 : 富津館山道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県安房郡富浦町深名 から
 千葉県富津市竹岡 まで

(ロ) 延 長 19.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
千葉県安房郡 富浦町深名 から 千葉県富津市竹岡 まで	80	19.2	

別紙 1

(ニ)設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
千葉県安房郡 富浦町深名 から 千葉県富津市竹岡 まで	2車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50				
トンネル部分	0.75 × 2	1.50				
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)						

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道127号	千葉県安房郡富浦町深名	平面接続	富浦インターチェンジ
町道ハイウェイオアシス1号線	千葉県安房郡富山町二部	立体接続	富山パーキングエリア (仮称)
県道 外野・勝山線	千葉県安房郡鋸南町 下佐久間	立体接続	鋸南富山インターチェンジ
主要地方道 鴨川・保田線	千葉県安房郡鋸南町保田	立体接続	鋸南保田インターチェンジ
県道 浜金谷停車場線	千葉県富津市金谷	立体接続	富津金谷インターチェンジ
主要地方道 竹岡インター線	千葉県富津市竹岡	立体接続	富津竹岡インターチェンジ
東関東自動車道 千葉富津線	千葉県富津市竹岡	平面接続	本線

(4)工事予算

121 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

イ 平成10年4月27日 (鋸南富山IC～富津竹岡IC)

ロ 平成14年9月2日 (富浦IC～鋸南富山IC)

工事の完成(予定)年月日

イ 平成11年3月26日 (鋸南富山IC～富津竹岡IC)

ロ 平成23年3月31日 (富浦IC～鋸南富山IC)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道127号(富津館山道路) 57 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道466号(第三京浜道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道466号

(有料道路名 : 第三京浜道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 東京都世田谷区上野毛一丁目 から

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岡沢町 まで

(ロ) 延 長 16.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 有料道路事業

(ロ) 道路の区分 高速自動車国道等の構造基準3級

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
東京都世田谷区 上野毛一丁目 から 神奈川県横浜市 保土ヶ谷区岡沢町 まで	80	16.6	

別紙 1

(ニ)設計自動車荷重 20トン及び25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.60メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
東京都世田谷区 上野毛一丁目 から 神奈川県横浜市 保土ヶ谷区岡沢町 まで	6車線	6車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.75 × 2	5.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.75 × 2	5.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75 × 2	5.50				

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

4.50メートル
2.50メートル (玉川高架橋から川崎高架橋まで)

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道466号	東京都世田谷区 上野毛一丁目	立体接続	本線(玉川)
都道羽田上高井戸岩淵線 (環状8号線)	東京都世田谷区 上野毛一丁目	立体接続	本線(玉川)
市道二子千年線	神奈川県川崎市 高津区末長	立体接続	京浜川崎インターチェンジ
市道尻手黒川線	神奈川県川崎市 宮前区野川	立体接続	野川インターチェンジ (仮称)
市道 新羽第270号線	神奈川県横浜市 港北区新吉田町	立体接続	都筑インターチェンジ
市道 新羽第529号線	神奈川県横浜市 都筑区早淵一丁目	立体接続	都筑インターチェンジ
市道大柵第468号線	神奈川県横浜市 港北区新吉田町	立体接続	都筑インターチェンジ
都市計画道路 新吉田線	神奈川県横浜市 港北区新吉田町	立体接続	都筑インターチェンジ
市道新羽第280号線	神奈川県横浜市 港北区新吉田町	立体接続	都筑インターチェンジ
市道 新横浜元石川線	神奈川県川崎市 都筑区川向町	立体接続	港北インターチェンジ
市道峰沢308号線	神奈川県横浜市 神奈川区三枚町	平面接続	羽沢入路
一般国道1号	神奈川県横浜市 保土ヶ谷区岡沢町	立体接続	保土ヶ谷インターチェンジ

別紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道1号(横浜新道)	神奈川県横浜市 保土ヶ谷区峰沢町 及び岡沢町	立体接続	保土ヶ谷インターチェンジ
県道横浜生田線	神奈川県横浜市 神奈川区三ツ沢西町	立体接続	保土ヶ谷インターチェンジ
市道 高速1号線(首都高速道路 神奈川2号三ツ沢線)	神奈川県横浜市 神奈川区三ツ沢西町	平面接続	本線

(4) 工事予算

610 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

昭和63年1月1日

工事の完成(予定)年月日

イ 平成4年12月20日 (保土ヶ谷パーキングエリア)

ロ 平成7年4月9日 (都筑インターチェンジ)

ハ 平成8年4月2日 (都筑パーキングエリア)

ニ 平成20年3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道466号(第三京浜道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)
(東京都あきる野市牛沼から埼玉県久喜市下早見まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別紙 1

(ホ)車線の幅員

東京都あきる野市牛沼から埼玉県比企郡川島町平沼まで	3.50	メートル
埼玉県比企郡川島町平沼から埼玉県久喜市下早見まで	3.75 及び 3.50	メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
東京都あきる野市牛沼 から 埼玉県久喜市下早見 まで	4車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

東京都あきる野市牛沼から埼玉県鶴ヶ島市藤金まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75×2	3.50	1.75及び 2.50	1.00	2.75及び 3.50	
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75及び 2.50	1.00	2.75及び 3.50	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	

別紙 1

埼玉県鶴ヶ島市藤金から埼玉県比企郡川島町平沼まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

埼玉県比企郡川島町平沼から埼玉県久喜市下早見まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	3.00 × 2	6.00				

別紙 1

(チ) 中央帯の標準幅員

(単位:メートル)

設計区間	中央帯の幅員	摘要
東京都あきる野市牛沼 埼玉県比企郡川島町平沼	から まで 3.00	
埼玉県比企郡川島町平沼 埼玉県久喜市下早見	から まで 4.50	

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道468号 (首都圏中央連絡自動車道)	東京都あきる野市牛沼	平面接続	本線
一般国道411号	東京都あきる野市牛沼	立体接続	あきる野インターチェンジ
都道184 奥多摩あきる野線	東京都西多摩郡 日の出町平井	立体接続	日の出インターチェンジ
都道44 瑞穂富岡線	東京都青梅市 今井五丁目	立体接続	青梅インターチェンジ
一般国道16号	埼玉県入間市扇町屋	立体接続	入間インターチェンジ
県道日高狭山線	埼玉県狭山市根岸	立体接続	狭山日高インターチェンジ
市道1015号線	埼玉県鶴ヶ島市三ツ木	立体接続	圏央鶴ヶ島インターチェンジ
関越自動車道 新潟線	埼玉県鶴ヶ島市藤金	立体接続	鶴ヶ島ジャンクション
都市計画道路坂戸東川越線	埼玉県坂戸市横沼	立体接続	坂戸インターチェンジ (仮称)

別紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道254号	埼玉県比企郡 川島町中山	立体接続	川島インターチェンジ (仮称)
一般国道17号	埼玉県桶川市川田谷	立体接続	桶川インターチェンジ (仮称)
主要地方道川越栗橋線	埼玉県桶川市加納	立体接続	桶川インターチェンジ (仮称)
一般国道122号	埼玉県南埼玉郡 菖蒲町台	立体接続	菖蒲白岡インターチェンジ (仮称)
東北縦貫自動車道 弘前線	埼玉県久喜市下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション (仮称)
一般国道468号 (首都圏中央連絡自動車道)	埼玉県久喜市下早見	平面接続	本線

(4) 工事予算

4,655 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手(予定)年月日

- イ 東京都あきる野市牛沼から東京都あきる野市牛沼まで
平成17年9月1日
- ロ 東京都あきる野市牛沼から東京都西多摩郡日の出町平井まで
平成15年5月20日
- ハ 東京都西多摩郡日の出町平井から東京都青梅市友田町まで
平成12年9月7日
- ニ 東京都青梅市友田町から東京都青梅市今井五丁目まで
平成3年7月1日
- ホ 埼玉県入間市木蓮寺から埼玉県日高市下大谷沢まで
昭和61年12月1日
- ヘ 埼玉県日高市下大谷沢から埼玉県鶴ヶ島市藤金まで
平成7年8月15日
- ト 埼玉県鶴ヶ島市藤金から埼玉県比企郡川島町中山まで
平成18年4月1日
- チ 埼玉県比企郡川島町中山から埼玉県久喜市下早見まで
平成18年4月1日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

工事の完成(予定)年月日

- イ 東京都あきる野市牛沼から東京都あきる野市牛沼まで
平成18年11月30日
- ロ 東京都あきる野市牛沼から東京都西多摩郡日の出町平井まで
平成17年3月20日

別 紙 1

ハ 東京都西多摩郡日の出町平井から東京都青梅市友田町まで
平成14年3月29日

ニ 東京都青梅市友田町から東京都青梅市今井五丁目まで
平成14年3月29日

ホ 埼玉県入間市木蓮寺から埼玉県日高市下大谷沢まで
平成8年3月26日

ヘ 埼玉県日高市下大谷沢から埼玉県鶴ヶ島市藤金まで
平成8年3月26日

ト 埼玉県鶴ヶ島市藤金から埼玉県比企郡川島町中山まで
平成20年3月31日

チ 埼玉県比企郡川島町中山から埼玉県久喜市下早見まで
平成20年3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(あきる野～久喜白岡) 1,582 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)
(茨城県つくば市新井から茨城県稲敷市沼田まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道(つくば~江戸崎))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 茨城県つくば市新井 から
茨城県稲敷市沼田 まで

(ロ) 延 長 23.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
茨城県つくば市新井 から 茨城県稲敷市沼田 まで	100	23.8	

別紙 1

(ニ)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
茨城県つくば市新井 から 茨城県稲敷市沼田 まで	2車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道468号	茨城県つくば市新井	平面接続	本線
県道 取手つくば線	茨城県つくば市新井	立体接続	つくばインターチェンジ (仮称)
常磐自動車道	茨城県つくば市梶内	立体接続	つくばジャンクション
一般国道6号 牛久土浦バイパス	茨城県つくば市市之台	立体接続	つくば牛久インターチェンジ
県道土浦竜ヶ崎線バイパス	茨城県稲敷郡阿見町小池	立体接続	阿見インタ - チェンジ (仮称)
県道竜ヶ崎阿見線バイパス	茨城県牛久市桂町	立体接続	阿見東インターチェンジ (仮称)
県道江戸崎新利根線バイパス	茨城県稲敷市沼田	立体接続	江戸崎インターチェンジ (仮称)
一般国道468号	茨城県稲敷市沼田	平面接続	本線

(4)工事予算

151 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成14年6月28日

工事の完成(予定)年月日

平成20年3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(つくば~江戸崎) 762 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)
(千葉県木更津市犬成から千葉県東金市丹尾まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名 : 東京湾横断・木更津東金道路(木更津JCT~東金IC))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 千葉県木更津市犬成 から

千葉県東金市丹尾 まで

(ロ) 延長 50.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
千葉県木更津市犬成 から 千葉県東金市丹尾 まで	100	50.0	

別紙 1

(二)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員

3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
千葉県木更津市犬成 から 千葉県東金市丹尾 まで	4車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

千葉県木更津市犬成から千葉県茂原市石神まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

別紙 1

千葉県茂原市石神から千葉県東金市丹尾まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00				
トンネル部分			3.00	1.75	4.75	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00				
橋梁高架部分 (長大橋)						

(チ)中央帯の標準幅員

4.50メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
東関東自動車道 千葉富津線	千葉県木更津市犬成	平面接続 立体接続	木更津ジャンクション
一般国道410号バイパス	千葉県木更津市下郡	立体接続	木更津インターチェンジ (仮称)
一般国道297号	千葉県市原市田尾	立体接続	市原南インターチェンジ (仮称)
一般国道409号(茂原一宮線)	千葉県長生郡長南町	立体接続	茂原長南インターチェンジ (仮称)
県道新治本納線	千葉県茂原市上太田	立体接続	茂原北インターチェンジ (仮称)
市道5164号線	千葉県東金市小野	立体接続	東金インターチェンジ
一般国道126号(千葉東金道路)	千葉県東金市丹尾	平面接続 立体接続	本線

別 紙 1

(4) 工事予算

1,300 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成13年2月28日

工事の完成(予定)年月日

イ 木更津JCTから茂原長南IC(仮称)まで
平成20年3月31日

ロ 茂原長南IC(仮称)から東金ICまで
平成22年3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道468号(東京湾横断・木更津東金道路)(木更津～東金) 5,008 百万円)